



X 教員一覧

1 教員一覧

デザイン学部		看護学部	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名
学長	中島 秀之	教授・小児	松浦 和代
教授・人間空間	椎野 亜紀夫	教授・在宅	菊地 ひろみ
教授・人間空間	齊藤 雅也	教授・成人	川村 三希子
教授・人間情報	石井 雅博	教授・母性	荒木 奈緒
教授・人間情報	柿山 浩一郎	教授・成人	卯野木 健
教授・人間空間	西川 忠	教授・成人	小田 和美
教授・人間情報	藤木 淳	教授・老年	貝谷 敏子
教授・人間情報	細谷 多聞	教授・地域	喜多 歳子
教授・共通教育	松井 美穂	教授・基礎	定廣 和香子
教授・人間情報	三谷 篤史	教授・管理	佐藤 ひとみ
教授・人間空間	山田 良	教授・基礎	樋之津 淳子
教授・人間情報	若林 尚樹	准教授・小児	加藤 依子
准教授・人間空間	大島 卓	准教授・成人	菅原 美樹
准教授・人間空間	片山 めぐみ	准教授・在宅	高橋 奈美
准教授・人間空間	金子 晋也	准教授・老年	原井 美佳
准教授・人間情報	金 秀敬	准教授・基礎	檜山 明子
准教授・人間空間	小林 重人	准教授・地域	本田 光
准教授・人間空間	小宮 加容子	准教授・成人	牧野 夏子
准教授・人間空間	武田 亘明	准教授・老年	村松 真澄
准教授・人間情報	張 浦華	准教授・精神	守村 洋
准教授・共通教育	並木 翔太郎	講師・母性	石引 かずみ
准教授・共通教育	丸山 洋平	講師・精神	伊東 健太郎
准教授・人間空間	御手洗 洋蔵	講師・母性	岡 園代
准教授・人間空間	森 朋子	講師・管理	鬼塚 美玲
准教授・人間空間	山田 信博	講師・成人	工藤 京子
准教授・人間情報	横溝 賢	講師・母性	黒田 紀子
講師・人間空間	石田 勝也	講師・基礎	武富 貴久子
講師・人間情報	大淵 一博	講師・小児	牧田 靖子
講師・人間空間	須之内 元洋	講師・基礎	三戸部 純子
講師・人間空間	藤沢 礼央	講師・管理	矢野 祐美子
講師・人間情報	福田 大年	講師・母性	山本 真由美
講師・人間情報	松永 康佑	特任講師・基礎	山出 誓子
助教・人間空間	坪内 健	助教・地域	市戸 優人
助教・人間情報	榊田 聡志	助教・母性	大友 舞
助教・人間情報	矢久保 空遥	助教・母性	久保田 祥子
助教・人間情報	吉田 彩乃	助教・成人	栗原 知己
		助教・地域	近藤 圭子
		助教・精神	渋谷 友紀
		助教・地域	田仲 里江
教授	高橋 尚人	助教・老年	西川 めぐみ
助教	星野 聖太	助教・成人	平山 憲吾
		助教・基礎	吉田 実和
		助手・基礎	高橋 葉子



2 教員業績一覧

デザイン学部

中島 秀之

＜所属学会・研究会＞人工知能学会／情報処理学会／日本認知科学会／PRICAI／サービス学会／日本ソフトウェア科学会／観光情報学会／日本工学アカデミー会員／日本工学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞IT総合研究会5月オープン例会での講演「我々の生活・仕事はAIでどう変わる？」（2023年5月16日、一般社団法人北海道中小企業家同友会とから支部）／日本生理人類学会第84回大会シンポジウム「人工知能と生理人類学」講師「AIと人類」（2023年6月17日、日本生理人類学会）／SSS2023招待講演「私的人工知能研究史：人工知能研究の半世紀」（2023年7月24日、一般社団法人電子情報通信学会）／超教育協会オンラインシンポジウム「Society5.0時代の教育とAI」（2023年8月2日、一般社団法人超教育協会）／トヨタ「技術者の一日」講師（2023年8月9日、トヨタ自動車株式会社）／第61回全国自治体病院学会(北海道)看護・看護教育分科会 特別講演講師「AI研究者から見た看護」（2023年8月31日、第61回全国自治体病院学会）／産学官連携研究会HoPE例会講師「AIで変える中小企業のサービス」（2023年9月13日、一般社団法人北海道中小企業家同友会）／「人工知能研究の半世紀」（2023年9月13日、合同エージェントワークショップ&シンポジウム（JAWS2023））／文藝春秋主催カンファレンス「DX進化論」講師「より良いサービスデザインとしてのDX～AIで情報の力を活かす～」（2023年10月18日、株式会社文藝春秋）／Arm Tech Symposia 2023講演「人工知能研究の歴史・現状と社会応用・将来向かうべき方向の示唆」（2023年11月9日、アーム株式会社）／2023年度青年研修バン格拉デシュ「ICT推進によるDX実践」における講師（2023年11月27日、株式会社北海道アルバイト情報社）／「Artificial Intelligence: Ethics on Research and Education」（2023年12月6日、ビナ・ヌサンタラ大学）／AIシンポジウム「AIの未来と未来のAIを語る」（2024年1月28日、公益財団法人栢森情報科学振興財団）／理事（産学連携推進機構）／国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会委員／取締役会長（未来シェア）／公立大学法人会津大学参与／北海道大学電子科学研究所外部評価委員／一般社団法人日本ディープラーニング協会 有識者会員／NEDO技術委員／一般社団法人新雪理事／札幌市次世代公共交通システム研究会委員（札幌市まちづくり政策局）／理事・本田賞選考委員（本田財団）／社会システムデザインセンター社員及び副理事長／ピアレビューア（外部評価者）（国立研究開発法人科学技術振興機構）／「Innovators Under 35 Japan」審査員（株式会社角川アスキー総合研究所）／戦略的創造研究推進事業における分野別研究領域評価委員（ICTイノベーション分野）（国立研究開発法人科学技術振興機構）／札幌国際芸術祭実行委員会副会長／会長（北海道MaaS推進研究会）／NoMaps実行委員会 顧問／未踏事業審査委員会委員（独立行政法人情報処理推進機構）／「Sapporo AI Lab」エグゼクティブ・アドバイザー／名誉学長（公立はこだて未来大学）／日本ソフトウェア科学会名誉会員（日本ソフトウェア科学会）／公立大学法人宮城大学評価委員会委員

椎野 亜紀夫

＜学会発表＞1.湿地小河川における沈水植物の生育特性と管理方針（共著、2023年6月、第6回自然環境共生技術研究会発表要旨集）／2.日本の自然教育の特徴と中国の自然教育の発展方向の考察-日中自然学校の比較研究-（共著、2023年10月、2023年度日本造園学会北海道支部大会）

＜学術集会運営＞日本造園学会北海道支部大会（2023年度、日本造園学会）

＜所属学会＞日本造園学会／日本都市計画学会／日本建築学会／こども環境学会／環境情報科学センター／日本博物館協会

齊藤 雅也

＜学術論文＞1.足裏への局所加熱がヒトの想像温度に与える影響に関する実験（共著、2023年6月、日本建築学会技術報告集、第29巻、72号、pp.882-887）

＜著書＞1.「再考 設計のための建築環境学」キーフレーズ集（共著、2023年9月）

＜国際会議での発表＞1.Social Experiment on “Home visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall of Northern Japan, Sapporo（共著、Proceedings of 2023 International Conference



of Asian-Pacific Planning Societies, pp.1168-1177、2023年8月)

＜学会発表＞1.被災住宅の再建における被災者の自助・共助を醸成する公助による動機づけ（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、No.96、pp.237-240、室蘭工業大学、2023年6月）／2.夏季におけるキリンの屋外での活動と気象条件の関係に関する基礎的研究 札幌市円山動物園における動物福祉の向上を目指して（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、No.96、pp.245-248、室蘭工業大学、2023年6月）／3.高断熱・高気密住宅における「住みこなし」をひきだす空間とその熱特性（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、No.96、pp.66-69、室蘭工業大学、2023年6月）／4.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の活用可能性 構造や空気温度に着目したトイレ環境の検証（共同、デザイン学研究2023、日本デザイン学会第70回研究発表大会、芝浦工業大学、pp.204-205、2023年6月）／5.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その4. 現在・過去・未来の想像温度の地域特性（共同、日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集（環境工学）、京都大学、pp.579-580、2023年9月）／6.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その5. 夏季の起床後・就寝前における想像温度と実際温度の相対差への気象影響（共同、日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集（環境工学）、京都大学、pp.581-582、2023年9月）／7.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断（その6）福山における想像温度と実際温度の個人差と気象影響（共同、令和5年度 空気調和・衛生工学会大会学術講演会（福井）、F-6、pp.33-36、2023年9月）／8.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断（その7）個人の想像温度に影響を与える快適・暑熱不快想像温度（共同、令和5年度 空気調和・衛生工学会大会学術講演会（福井）、F-7、pp.37-40、2023年9月）／9.災害時における避難所の現有備品と「遮冷ユニット」による冬季の就寝環境 被験者実験と放射エクセルギー評価（共同、令和5年度 空気調和・衛生工学会大会学術講演会（福井）、F-51、pp.213-216、2023年9月）／10.小・中学校における COVID-19 状況下での空間利用に関する研究「2021年度と2022年度の小中学校の授業運営・空間対応と換気評価との関係に着目して」（共同、日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集（建築計画）、京都大学、pp.273-274、2023年9月）／11.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の使用感の検証（共同、一般社団法人日本災害看護学会第25回年次大会、アクリアひめじ（姫路文化コンベンションセンター）、2023年9月）／12.夏季の「オープンクーリング」による室内気候の特性 温暖地（東京）での居住者・非居住者の「交換実験」を通して（共同、日本太陽エネルギー学会講演論文集（2023）、大阪エブノ泉の森ホール、pp.95-98、2023年11月）／13.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その8. 札幌・熊本における夏季の想像温度と実際温度の相対差に及ぼす個人差・気象影響（共同、2023年度日本建築学会中国支部研究発表会、pp.434-437、広島大学、2024年3月）／14.冬季災害時における現有備品を活かした「遮冷空間」の提案 一人体エクセルギー評価による実用性の検討―（共同、空気調和・衛生工学会北海道支部 第58回学術講演会、A-4、2024年3月）

＜学会座長就任状況＞日本建築学会大会（環境工学部門）（2023年9月、2023年大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Building and Environment（1回）／2.日本建築学会環境系論文集（1回）／3.日本建築学会技術報告集（1回）

＜学会役員就任状況＞日本太陽エネルギー学会（理事（2022～23年度））／空気調和・衛生工学会（北海道地区担当理事・北海道支部長（2023～24年度））／日本建築学会地球環境委員会（幹事（2023～24年度））／日本建築学会学会賞審査委員会（作品部門）（委員（2023～24年度））／日本建築学会地球環境委員会 環境ライフスタイル普及小委員会（委員（2001～現在））／日本建築学会熱環境委員会バイオクライマティックデザイン小委員会（運営委員（2013～現在））／空気調和・衛生工学会 北海道支部（委員（2001～現在））／日本建築学会 北海道支部 環境工学専門委員会（委員（2001～現在））

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部 第96回北海道支部研究発表会実行委員会（実行委員長、室蘭工業大学）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／空気調和・衛生工学会／日本太陽エネルギー学会／日本感性工学会／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／LowEx. Net (Network of International Society for Low Exergy Systems in Buildings)／PLEA (Passive and Low Energy Architectures)

＜講演会・講習会活動＞BIS養成講習会・講師（（一社）北海道建築技術協会）／SSH（スーパーサイエンスハイスクール）講師（北海道旭川西高等学校、国立研究開発法人科学技術振興機構）／渡辺ヒー



ディングセミナー（山形）：講師「“健康的な室内気候”について考える」（2023年5月25日、渡辺ヒーティング㈱）／セミナー「これからの医療とケアを考える：講師「安心できる室内環境と場がもつポテンシャル～オレンジリビングベースの実践より～」（2023年6月10日、ピーエスグループ）／ピーエスクラブ2023：コーディネーター「生きるに寄り添う、医療法人社団オレンジの取り組み」（2023年9月30日、ピーエスグループ）／ネオマアカデミー：第16回・第17回 講師「超高性能住宅が生み出す心地よい住まいを空気と空間の価値から考える（10月）／ほどよい不均質を心地よい住まいの価値に変換する（2月）」（2023年10月5日、2024年2月19日、旭化成建材㈱）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞甲府市遊亀公園附属動物園 整備工事に伴うアドバイザー（甲府市）／卒業論文等顕彰事業委員会 環境系専攻部会長（卒論・修論審査）「2023年環境部門・部会長」（2022年4月～2023年6月、（一社）日本建築学会）／理事、専門家向けハンドブックの編纂「新・太陽エネルギーハンドブック（仮称）」（2022年6月～2024年5月、（一社）日本太陽エネルギー学会）／研究発表会実行委委員会・委員長、北海道支部 北方型住宅オープンクーリング研究委員会・主査（-2024.3）「第96回日本建築学会北海道支部研究発表会主催」（2022年6月～2024年5月、（一社）日本建築学会、北海道支部）／登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関/評価員・評定員（2023年4月～2024年3月、（一社）北海道建築指導センター）／理事（北海道支部担当）（2023年5月～2025年5月、（公社）空気調和・衛生工学会）／環境工学委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会「季節を味わう住みこなし術（パネルディスカッション）」（2023年9月12日、（一社）日本建築学会、地球環境本委員会 環境ライフスタイル普及小委員会）／BIS認定事業に係る試験講習委員会（講習会講師）「開口部の計画、涼房・防暑の計画」（2023年9月29日、（一社）北海道建築技術協会）／BE建築設備 第872号（2023年9月号）「表面温度のムラが創るウェルネスデザイン」（2023年9月30日、（一社）建築設備総合協会）／第2回ミニシンポジウム「蒸暑地域の半屋外空間を考える」「住みこなし」をひき出す半屋外・半屋内空間を寒冷地域から蒸暑地域に向けて考える」（2023年10月28日、（一社）日本建築学会、環境工学委員会 熱環境運営委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会）／第52回日本医療福祉設備学会「安心できる室内環境と場がもつポテンシャル～オレンジリビングベースの実践より～」（2023年11月16日、（一社）日本医療福祉設備協会）／群馬工場オフィス空間の夏季の涼房化に関する助言（2023年12月19日、㈱ケアコム）／スーパーサイエンスハイスクール特別講義（北海道旭川西高等学校）「ペットボトルハウスで温房・涼房を考える」（2024年3月12日、国立研究開発法人 科学技術振興機構、北海道旭川西高等学校）／国内動物園・水族館の飼育展示スタッフ向けの技術支援「動物に健やかな暮らしをもたらす放射調整（放調）に基づく動物園デザイン」（2024年3月15日、日本飼育技術学会）

石井 雅博

＜学術論文＞1.VR教材を活用した体験学習型環境教育の学習者評価の分析（2024年、環境教育、33-2、pp.2_87-98）

＜国際会議での発表＞1.Development of a Web Application to Support Mothers' Connection to the Community and Verification of Its Effectiveness（27th East Asian Forum of Nursing Scholars、2024年）

＜所属学会・研究会＞日本視覚学会／日本バーチャルリアリティ学会／電子情報通信学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞視覚科学技術コンソーシアムの運営（視覚科学技術コンソーシアム）

柿山 浩一郎

＜学術論文＞1.視覚的な表現の質・情報量の違いがアイデア発想に与える影響 —アイデア発想を誘発する情報量の多い視覚表現「動画」を対象に—（共著、2024年3月、日本感性工学会論文誌、Vol.23 No.1、p.49-59（2024））

＜学会発表＞1.BtoB企業製品のユーザビリティ評価の特徴 —その2—（口頭発表）（共同、日本デザイン学会誌 第70回研究発表大会概要集2023、セッションID:10C-05、p.386-p.387、2023年6月）

／2.ファッション誌の表紙に対する作り手の創造思考（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号02、p.3-p.4、2024年3月）／3.快適に役割分担をさせてストレスを緩和できるアイスブレイクの提案 —文房具選択と協同する際の取り組み姿勢の関連性—（共同、日本感性工学会 感



性フォーラム札幌2024、演題番号03、p.5-p.6、2024年3月）／4.公共空間におけるFemtech/IoT 製品の提案 —生理痛の緩和・末端冷え性の解消を目的とした機能を持つ座席とアプリケーションの連携—（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号04、p.7-p.8、2024年3月）／5.旅行土産のパッケージデザインから考える商品開発の背景についての調査（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号05、p.9-p.10、2024年3月）／6.キャラクターやぬいぐるみへの認識がぬいぐるみの愛着要素に及ぼす影響（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号06、p.11-p.12、2024年3月）／7.観光地の魅力を高める撮影行為誘導システムの提案（共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024、演題番号07、p.13-p.14、2024年3月）

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会 第70回春季大会（2023年6月23日～25日、日本デザイン学会）／日本感性工学会 感性フォーラム札幌2024（2024年3月3日、日本感性工学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本感性工学会論文誌（1件、日本感性工学会（論文査読））／2.日本デザイン学会（英文誌）（1件、日本デザイン学会（論文査読））／3.日本感性工学 25th大会（4件、日本感性工学会（抄録査読））／4.日本感性工学 19th春季大会（2件、日本感性工学会（優秀賞 抄録査読））

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（研究推進委員会、委員長）／日本デザイン学会（梗概集編集委員会、委員）／日本デザイン学会（理事）／日本感性工学会（理事）／日本感性工学会（論文審査委員会、委員）／日本感性工学会（北海道支部、支部長）／日本感性工学会（感性インタラクション研究部会 部会長）

＜学術集会運営＞第70回日本デザイン学会春季研究発表大会2023（日本デザイン学会）／日本デザイン学会秋季企画大会2023（日本デザイン学会）／感性フォーラム札幌2024（日本感性工学会 北海道支部、感性インタラクション研究部会）

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会／日本デザイン学会／日本精密工学会

＜講演会・講習会活動＞北海道図書館大会 第1分科会 講師（2023年9月8日、私立短期大学図書館協議会 北海道地区協議会）／ユニバーサルなゆうべ「プレゼンテーションのユニバーサルデザイン」（2023年9月17日、NPO法人 北のユニバーサルデザイン協議会）／第7回 クレイモデリングセミナー2023 運営／芸森キャンパスエコツアー（2023年8月19日、NPO法人北のユニバーサルデザイン協議会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞低床車両デザイン選考委員（低床車両のラッピング広告事業を行う上での広告ガイドライン作成）（（一財）札幌市交通事業振興公社）／ユニバーサルなゆうべ 運営（NPO法人 北のユニバーサルデザイン協議会）

西川 忠

＜学会発表＞1.空知管内浦臼町における歴史的建築物の調査（共同、日本建築学会北海道支部研究発表会、2023年6月）／2.自己治癒コンクリートのRC造建築物に対する適用性の研究（共同、日本建築学会北海道支部研究発表会、2023年6月）／3.アイスコングリートの研究（単独、日本建築学会北海道支部研究発表会、2023年6月）／4.屋外曝露実験による木質外装材の色変化（共同、日本建築学会大会学術講演、2023年9月）／5.開発途上国における構造安全性の確保についての基礎的研究＜2023年トルコ地震を契機として＞その4 フィリピンにおける取組の事例紹介（ぜい弱なCHB造の改善）（共同、日本建築学会大会学術講演、2023年9月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会（2件、日本建築学会構造系論文集）／2.日本コンクリート工学会（40件、日本コンクリート工学会年次大会）

＜学術集会運営＞日本コンクリート工学会年次大会（日本コンクリート工学会）

＜講演会・講習会活動＞建築技術者を対象とした技術セミナー（1998年～現在、北海道建築技術協会多数）／コンクリート診断士更新講習委員（2018年～現在）／札幌旭丘高校へのSCU出前授業「現代のスーパーテクノロジー建築&トンデモ建築」／北海道建築技術協会セミナー「雪と建築」／北海道建築技術フォーラム「身近なたてももの診断と最新の建築診断技術」／インフラメンテナンス国民会議「非建築技術者のための建物診断セミナー」／日本コンクリート工学会報告会「北海道のコンクリート秘話」

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞新入社員研修「ゼネコンの技術力とは」他（丸彦渡辺建設（株））／事業の企画および研究会の運営（主査）（北海道建築技術協会）



藤木 淳

＜学術論文＞1.身体的万華鏡：鑑賞者と鏡作品の位置に応じて反射像が変化する万華鏡型作品の提案（共著、2023年7月、日本バーチャルリアリティ学会論文誌、28巻、2号、pp.121-130）／2.視点依存カラー立体モデル（単著、2023年7月、日本デザイン学会デザイン学研究作品集、28巻、1号、pp.121-130）／3.身体動作に同期して植物を動作させることが一体感に与える影響（共著、2023年7月、日本感性工学会論文誌、22巻、4号、pp.361-369）／4.札幌市立北都小学校におけるアーティスト・イン・スクール「おとどけアート」（単著、2023年9月、SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2022 札幌市立大学論文集、第17巻、第1号、pp.121-130）

＜特許・意匠登録＞仕切り装置（2023年6月）／化学構造模型（2024年3月）

＜学会発表＞1.「花びんと鳥かご」「手回しオルガン」「タンポポ」（共同、2023年4月～6月、北海道立近代美術館「トリック×イリュージョン！」展）／2.絶えず「自分」を探すアート体験のインタラクティブデザイン（単独、2023年6月25日、日本デザイン学会 第70回研究発表大会）／3.パズルゲームにおけるルールが及ぼす難易度と時間への影響（共同、2023年6月25日、日本デザイン学会 第70回研究発表大会）／4.「Incompatible BLOCK」「OLE Coordinate System」「Constellation」「PET24」「cellroid」（共同、2023年7月～10月、IPUInspire展）／5.ボードゲームにおける役割の選択の有無が盛り上がり及ぼす影響（共同、2023年8月31日、エンターテインメントコンピューティング2023）／6.インタラクティブなルールを解くデジタルパズルの制作（共同、2023年8月31日、トコンピューティング2023）／7.チェイスH.C.：移動制御可能な拡大鏡による画面の部分拡大を用いたゲームの提案（共同、2023年9月1日、トコンピューティング2023）／8.植物との一体感を向上させる疑似体験手法の検証（共同、2023年9月1日、トコンピューティング2023）／9.3次元空間における、運動性を考慮した省略表現（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／10.自然現象表現に対して身体所有感を生起させる表現手法の検討（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／11.感情を考慮することによる対話型AIとのコミュニケーションの円滑化（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／12.言語インターフェースによるCGキャラクターの制御・自然対話によるアニメーション制作の基礎研究（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／13.動的要素と数学的要素を融合した空間の可視化・糸を用いた数理空間表現（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／14.内省的アニメーション作品の制作を通じた自己分析・他者との対話を交えた制作プロセス（共同、2023年10月22日、第14回日本デザイン学会第1支部大会）／15.カラーフィルタを用いた単一動画像における複数情報提示手法（共同、2024年3月7日、インタラクティブ2024）／16.cellroid3: 自律的に再帰的な階層構造を形成する点群アルゴリズム（単独、2024年3月7日、インタラクティブ2024）

＜論文査読・学会抄録査読＞情報処理学会論文誌ジャーナル（1件、情報処理学会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本バーチャルリアリティ学会／芸術科学会／共創学会／日本看護科学学会／情報処理学会

＜講演会・講習会活動＞札幌国際芸術祭2024関連イベント「SIAFスクール LAST SNOWレクチャー 第1回 雪の結晶をめぐって～レクチャー&ワークショップ～」（2023年5月13日）／出前授業「自分だけの雪の結晶をつくろう」×10校回（2023年5月13日、2023年7月7日、2023年7月14日、2023年7月21日、2023年8月25日、2023年8月29日、2023年9月5日、2023年9月8日、2023年9月19日、2023年9月29日、2023年10月27日、札幌国際芸術祭実行委員会）／北海道立近代美術館 企画展「トリック×イリュージョン！」ワークショップ×2回「手作りスリットアニメーション」（2023年5月20日、2023年5月28日、北海道新聞社）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌国際芸術祭2024 スクール「つながる×ひろがる×学校」に関する運営（数回の議論を行った）（2022年12月～2024年3月、札幌国際芸術祭実行委員会）／札幌国際芸術祭2024関連イベント「SIAFスクール LAST SNOWレクチャー 第1回 雪の結晶をめぐって～レクチャー&ワークショップ～」レクチャー（2023年5月13日、札幌国際芸術祭実行委員会）／NHKが放送する「神ゲー創造主エポリューション」に参加しているクリエイターのメンター業務（2023年9月～12月、NHK）／科学研究費助成事業 審査員（2024年度 若手研究）（2023年度、日本学術振興会）

細谷 多聞

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会



<講演会・講習会活動> 講義「さわって楽しい遊び」と遊び「けいとでおえかき」実施「夕張市民講座「けいとでおえかき」」（2023年12月9日、夕張市教育委員会）

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 小慢児童等の就職準備に資する（仮称）マイトリセツシートの作成（2023年6月9日～2024年3月31日、札幌市保健所）

松井 美穂

<学術論文> 1. 「神よ、南部を救いたまえ」ーカーソン・マッカラスの『針のない時計』における南部と病（単著、2023年12月、『文学と評論』、第3集・第16号、pp.12-25）

<所属学会・研究会> 日本英文学会／日本英文学会北海道支部／日本アメリカ文学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／Carson McCullers Society／アメリカ学会／カナダ文学会／文学と評論社

三谷 篤史

<学会発表> 1. ヨーロッパ発祥の遊具「チーズボード」の特性の評価（共同芸術工学会2023年度秋期大会、2023年11月11日、崇城大学メインキャンパス、2023年11月）／2. 食事介護の基礎技術学習用シミュレータにおける口唇部の改良（センサキャリブレーション及びナビゲーションアルゴリズムの検討）（共同第24回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会（SI2023）2023、12.14-16 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター、2023年12月）

<所属学会・研究会> 日本ロボット学会／日本機械学会／アメリカ電気電子学会(IEEE)/ロボティクス・オートメーション部門(RAS)およびパワー・エネルギー部門(PES)／精密工学会／計測自動制御学会／日本デザイン学会／看護理工学会／日本感性工学会／日本トライボロジー学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> ビジネスEXPOにおける展示（2023年11月9日、10日、北海道技術・ビジネス交流会 実行委員会）／第21回 医療AI特別セミナーにおける講師「看護DXおよびAIの導入を進める口腔介護シミュレータ」（2023年11月16日、医療 AI 開発者養成プログラム（CLAP））／シンポジウム「口腔の健康とウェルビーイングを促進する教育と実践」における講演「教育環境のDX化をもたらす口腔介護シミュレータは学習者・新人の能力底上げに寄与するか？」（2023年11月23日、北海道歯科医療管理学会）／研究会の実施「カーリングに関する研究(仮)」（2024年2月8日、北海道トライボロジー研究会）

大島 卓

<学術論文> 1. 事業拠点間交通路及び施設配置の変容過程に着目した岩手県小岩井農場の空間特性（単著、2024年3月、日本造園学会誌『ランドスケープ研究』、Vol.87 No.5、p.471～p.476）

<作品発表> 1. 札幌市立駒岡小学校屋上緑化施設（共同、2023年12月、都市緑化機構 第22回 屋上・緑化技術コンクール）

<学術集会運営> 日本造園学会北海道支部大会（公益社団法人日本造園学会北海道支部）

<所属学会・研究会> 公益社団法人日本造園学会／一般社団法人日本建築学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> デザインワークショップの開催・運営「冬みち便り製作事業」（2023年7月～11月、札幌市南区土木部維持管理課）

片山 めぐみ

<学術論文> 1. コミュニケーション媒体としての弁当開発と住民にまちの気づきを促す開発プロセスの検討（単著、2023年9月、札幌市立大学紀要17(1)、pp.33-40）

<学会発表> 1. 地域連携型コミュニティ・マルシェにおける参加者の役割と意識の変化について（共同、日本教育工学会研究報告集 2023(4)、pp.215-222、2023年12月）／2. 地域運営型フリースクール「うめむすび」設立支援と学生にとっての教育的意義～不登校の子ども達のための地域の居場所づくり（共同、第12回日本公衆衛生看護学術集会ポスター発表、2024年1月6日）

<論文査読・学会抄録査読> 1. 日本建築学会論文査読（計画系論文集、技術報告集）（2件）／2. 日本デザイン学会論文査読（1件）

<学会役員就任状況> 日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会主査

<所属学会・研究会> 日本建築学会／日本デザイン学会／日本社会福祉学会

<講演会・講習会活動> 第14回日本デザイン学会第1支部基調講演「コミュニティのつくり方～コミュ



ニティマルシェ『八百カフェ』」（2023年10月21日、日本デザイン学会第1支部）／第16回 環境・エネルギーセミナー「若い力が牽引する札幌発ソーシャル・イノベーション」（2023年11月14日、北電総合設計株式会社）／「職業基礎」講師派遣「真駒内駅前地区まちづくり計画について～「杜cafe」の将来」（2023年11月30日、市立札幌みなみの森高等支援学校）／真駒内駅前地区まちづくり勉強会での講師「役割と居場所のあるコミュニティ・デザイン」（2024年3月3日、札幌市まちづくり政策局）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道の地域コミュニティに関する研究会にて専門知識を提供（計5回）「北海道地域コミュニティ研究会」（2023年8月～2024年3月、一般財団法人北海道開発協会）／第18回公共建築賞に該当する北海道内の公共建築を審査「第18回公共建築賞審査会」（2023年8月～2024年3月、一般社団法人公共建築協会）

金子 晋也

＜学術論文＞1. 羅臼町カモイウンベ地区における昆布漁場の空間構成の特徴（共著、2024年2月、日本建築学会計画系論文集/89巻（2024）816号、p.220-231）／2. 北海道鮭魚漁場建築的譜系 ―海洋文化传播視角下的建築空間及其近代化 Genealogy and Architecture of the Hokkaido Herring Fishery: Architectural Space and Modernization via the Ocean Route（共著、2024年、新建築No213、pp.53-58）／3. 厚真町吉野地区の土地利用と建物の変遷に関する研究ノート（単著、2024年、札幌市立大学研究論文集：掲載号未定）

＜国際会議での発表＞1. Japanese Traditional House Recycling in the cold region（単独、CIRCULAR BUILDING PRACTICES: A JAPANESE-GERMAN PERSPECTIVE March 18-19, 2024、2024年3月）

＜学会発表＞1. 三笠市炭鉱遺構群の調査研究（2）旧北炭幌内炭鉱の選炭機の現況と復元的考察（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集96巻、pp.351-354、2023年6月）／2. 近年消失した札幌の歴史的建造物に関する調査（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集96巻、pp.1079-1080、2023年6月）／3. 札幌市都心部における歴史的建造物と周辺環境に関する調査（共同、学術講演梗概集建築歴史・意匠(2023)、pp.719-720、2023年9月）／4. 厚真町におけるDIYによる拠点施設整備事業（共同、芸術工学会誌87号、pp.36-37、2023年11月）／5. 厚真ベースにおける地域材を活用した家具制作-用途に応じてゆるやかに空間を分ける「二面性を持つ長椅子」と「ユニット化された棚」（共同、芸術工学会誌87号、pp.38-39、2023年11月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）／2. 日本建築学会技術報告集（2件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会北海道支部（常議員・役員会幹事、歴史意匠専門委員会、会計）／日本建築学会（設計計画・構法計画運営委員会 委員、木造構法小委員会 委員・幹事、近代建築史小委員会 委員、文化的生態的小委員会 委員）／芸術工学会（理事、企画委員会 委員）

＜学術集会運営＞日本建築学会北海道支部研究発表会 実行委員会 委員（日本建築学会）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／芸術工学会／生活学会／日本在宅ケア学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞秋季大会会誌の編集「芸術工学会誌」（2023年8月～9月、芸術工学会企画委員会）／北海道ヘリテージマネジメント専門職育成講座（2023年8月20日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）／大通公園プレイスメイキング実証実験（協力）「大通公園プレイスメイキング」（2023年9月14日～16日、札幌都心プレイスメイキング実行委員会）／炭鉱遺産の調査「炭鉱遺産に関する現地での実測調査」（2023年9月19日、三笠市）／建築文化週間、会計「北海道開拓の村 40周年「野外博物館の価値 そしてこれから」の運営」（2023年10月14日、日本建築学会）／デザイン案の作成協力「コワーキングスペースの提案」（2023年11月～2024年2月、エア・ウォーター北海道株式会社）／総合的探求の時間におけるデザイン・建築に関する講義「総合的な探求の時間「BEING ALIVE」」（2023年11月22日、31日、手稲高校）／講座の講師として北海道の木造建築事例に関する講義を実施「伝統のレジリエンス「生き延びる力」を考えるパート2」（2023年11月25日、木の建築フォーラム）／審査委員「第1回ほっかいどう高校生POPフェスタ」（2023年11月28日、第1回ほっかいどう高校生POPフェスタ）／審査委員「札幌市公文書館ロゴマークコンペ審査」（2024年2月16日、札幌市公文書館ロゴマークコンペ）／支部役員会運営（常議員幹事として参加）「日本建築学会北海道支部役員会」（通年、日本建築学会北海道支部）／委員会幹事、委員会の開催・運営「木



造建築小委員会若手ワーキング研究会（オンライン）」（通年、日本建築学会木造構法小委員会）／歴史意匠専門委員会の開催・運営・会計、特定課題研究の会計「歴史意匠専門委員会の開催・運営・会計、特定研究課題の会計」（通年、日本建築学会北海道支部歴史意匠専門委員会）／拠点施設の設計・施工「DIYによる拠点施設整備事業」（通年、厚真町まちづくり推進課）／理事会の委員として秋季大会を企画・運営「芸術工学会秋季大会」（通年、芸術工学会企画委員会）

金 秀敬

＜学術論文＞1.Towards Value-Driven Experience Design: Minding the Definition of Design as beyond Language（単著、2023年6月、DS 117: Proceedings of the 24th International Conference on Engineering and Product Design Education (E&PDE 2022) DOI number: 10.35199/EPDE.2022.90）／2.The Role of Filter Driven Variety in Cognition focused on Logic and Aesthetic Values（単著、2023年10月、Proceedings of the 10th Congress of the International Association of Societies of Design Research (IASDR 2023): Life-Changing Design. DOI:10.21606/iasdr.2023.123）／3.Towards an Education System aimed at Enhancing the Embodied, Enactive and Interactive Experience through New Realities（単著、2024年9月、Proceedings of International Conference on Engineering and Product Design Education (EPDE 2024) DOI number : 10.35199/EPDE.2024.58）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.Proceedings of International Conference on Engineering Design（2件、International Design Society）／2.International Journal of Economic Policy in Emerging Economies（1件、Economic Policy in Emerging Economies）／3.The REDO biannual Cumulus（4件、Cumulus Association）／4.日本感性工学会論文集（4件、日本感性工学会）／5.International Journal of Affective Engineering（4件、日本感性工学会）／6.International Conference on Tangible, Embedded and Embodied Interactions（1件、Association for Computing Machinery）／7.Proceedings of International Conference on Engineering and Product Design Education（4件、International Design Society）／8.SCU Journal of Design & Nursing（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞International Conference on Design & Emotion (Chicago, USA)（学生ボランティア）／International Conference on Kansei Engineering & Emotion Research (Paris, France)（学生ボランティア）／International Conference on Human Systems Engineering and Design (Iセッション) 座長 (Champagne - Ardenne, France)

＜所属学会・研究会＞The Design Society／日本感性工学会／日本デザイン学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞Design Research Validation Methodology (Prince of Songkla University)／論文審査（日本感性工学会）

小林 重人

＜学術論文＞1.地下水経由の栄養素およびミネラル負荷を受けたプアフェンでの異なる地形空間における環境傾度上の群落傾度の評価（共著、2024年2月、日本湿地学会、『湿地研究』（13, 35-56））／2.大学のない地方中小都市と大学生を繋ぐポストコロナにおける交流のあり方パターン・ランゲージを活用した域学連携のデザイナー（共著、2024年3月、地域活性学会、『地域活性』（20, 37-46））

＜国際会議での発表＞1.Gaming Development for learning Regional Economic Circulation: Regional Economic Circulation Simulation (The 54th Conference of the International Simulation and Gaming Association (ISAGA '23), University of La Rochelle, La Rochelle, France, 2023.、2023年7月、フランス・ラ・ロシェル)／2.Social Experiment on “Home-visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall of Northern Japan, Sapporo (Proc. 2023 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, pp. 1168-1177, Da Nang City, Vietnam, 2023.、2023年8月、ベトナム・ダナン)

＜学会発表＞1.被災住宅の再建における被災者の自助・共助を醸成する公助による動機づけ（共同、第96回日本建築学会北海道支部研究発表会、2023年6月）／2.特別支援教育で活用可能な性教育教材（SHカード）の開発と有効性の評価（共同、日本地域看護学会第26回学術集会、2023年9月）／3.大学のない地方都市と大学生を繋ぐポストコロナにおける交流の在り方パターン・ランゲージを活用した交流デザイナー（共同、地域活性学会 第15回研究大会 一般・学生発表 予稿集, 258-261, 2023.、2023年9月）／4.廃止措置知識マネジメントにおけるジェネラティビティの重要性ーその1 プラント運



転知識に関するフォーカスグループ（共同、日本原子力学会 2023年秋の大会、2023年9月）／5.行動バイアスの理解を促進する高校生向け金融教育の実践－資産運用カードゲームの開発と評価－（共同、経済教育学会 第39回全国大会 報告要旨集, F4, 2023.、2023年10月）／6.乗合タクシーにおけるモニターを利用した地域情報の提示とその効果（共同、情報処理学会 第86回全国大会講演論文集, 4F-03, 4-231-232, 2024.、2024年3月）／7.職員の主体性を促す大学DXのデザイナー－大学事務局での調査と実践－（共同、情報処理学会 第86回全国大会講演論文集, 5ZH-09, 4-597-598, 2024.、2024年3月）／8.地域経済循環を体験するゲーミング・シミュレーションの開発（共同、2023年度 進化経済学会 福井大会、2024年3月）／9.外国人・日本人観光客が共に見やすいバス路線図のデザイナー－真駒内駅バスターミナルにおける観光客への調査を通じて－（共同、2023年度 地域活性学会 北海道支部研究会、2024年3月）

＜学会座長就任状況＞日本シミュレーション&ゲーミング学会2023年度秋期全国大会（2023年11月、日本シミュレーション&ゲーミング学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.地域活性（1件、地域活性学会）

＜学会役員就任状況＞進化経済学会 北海道・東北部会（部会長）／進化経済学会 JAFEE通貨委員会（委員）／進化経済学会 学会賞選考委員会（選考委員）／日本シミュレーション&ゲーミング学会（学術委員）

＜学術集会運営＞進化経済学会北海道・東北部会研究発表会（進化経済学会）／日本シミュレーション&ゲーミング学会2023年度秋期全国大会（日本シミュレーション&ゲーミング学会）

＜所属学会・研究会＞情報処理学会／進化経済学会／地域活性学会／日本シミュレーション&ゲーミング学会／経済社会学会／経済教育学会／日本建築学会

＜講演会・講習会活動＞岩手県北・沿岸エリア地域循環経済圏ミーティングにおいて地域通貨に関するゲームを担当した。「地域通貨ゲーム@岩手県久慈市」（2024年1月30日、株式会社アースカラー）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞行政職員やまちづくり関係者にデジタル地域通貨に関する講義を行った。「デジタル地域通貨による社会システムのデザイン」（2023年6月16日、一般社団法人まちづくり府中）

小宮 加容子

＜学術論文＞1.あそびを作品に展開する試み・豊かなあそびを促すためのデザイン-（共著、2023年3月31日、日本デザイン学会、デザイン学研究作品集、2022年28巻1号（発行は2023年））

＜作品発表＞1.あそび「ヒカリでどっとと」（共同、2023年6月、アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム 汗かくメディア賞）／2.作品「れらたん」、「ぶどうだべあ」展示（共同、2023年3月、NHK札幌企画展「木彫りのクマと旅するHokkaido」）／3.あそび「ぷかぷか・せいめいたい」（共同、2023年7月、北洋銀行ものづくりサステナフェア2023）／4.作品「101色クジラ」の展示（共同、2023年11月、第29回芸術の森地区文化祭）／5.あそび「けいとでおえかき」と作品「カラフルクジラ」展示（共同、2023年12月、夕張市民講座（於拠点複合施設「りすた」））

＜学会発表＞1.子どもの木材加工への意欲向上を目的とした「ノコギリ」の使用を体験的に習得できる題材及びプログラムの開発（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PA-20（ポスター発表）、2023年6月24日）／2.ぬい活とクリエイティビティの関係性について（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PB-08（ポスター発表）、2023年6月25日）／3.雪道でも気軽に散歩ができるベビーカーの提案（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PB-10（ポスター発表）、2023年6月25日）／4.さわって楽しむあそび「びりびり わしゃわしゃ」の実践報告（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PB-15（ポスター発表）、2023年6月25日）／5.「なりきる」ことであそびを豊かにする可能性の検証（日本デザイン学会 第70回春期研究発表大会PB-16（ポスター発表）、2023年6月25日）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.2023年度デザイン学研究作品集（8件、日本デザイン学会）

＜学術集会運営＞第70回日本デザイン学会春季研究発表大会（概要編集委員会幹事、日本デザイン学会）／2023年日本デザイン学会作品集（日本デザイン学会2023年度作品集審査委員、日本デザイン学会）

＜講演会・講習会活動＞講義「あそびのデザイン」「NUDAセミナー「あそびのデザイン」」（2023年10月2日、北のユニバーサルデザイン協議会）／講義「さわって楽しい遊び」と遊び「けいとでおえかき」実施「夕張市民講座「けいとでおえかき」」（2023年12月9日、夕張市教育委員会）



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞理事、セミナー実施（2023.10.2）（不定期、北のユニバーサルデザイン協議会（NUDA））／小慢児童等の就職準備に資する（仮称）マイトリセツシートの作成（2023年6月9日～2024年3月31日、札幌市保健所）

並木 翔太郎

＜学術論文＞1.Valence Change and Case-Marking in the -(r)asar- Construction（単著、2024年2月、Tsukuba English Studies 42、pp.141-160）
 ＜学会発表＞1.札幌円山動物園「こども動物園」における利用実態調査（共同、2023年度SCU産学官金研究交流会（於ACU-A大研修室）、2023年11月）
 ＜所属学会・研究会＞筑波英語学会／日本語学会／日本英語学会／英語語法文法学会／日本語文法学会
 ＜講演会・講習会活動＞Huddling Fashion Show（2023年12月6日、JST「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」）／お金と仕事で考えるライフデザインワークショップ“発見！体験！未来のワタシ！”（2024年1月20日、JST「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」）

丸山 洋平

＜学術論文＞1.Social Experiment on “Home Visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall in Northern Japan, Sapporo（共著、2023年8月、Proceedings of 2023 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, pp.1168-1177）／2.マクロ統計データの組み合わせによる新たな地域人口分析指標（単著、2023年11月、人口学研究, 第59号, pp.2-14）
 ＜著書＞1.東京ミドル期シングルの衝撃「ひとり」社会のゆくえ（共著、2024年3月、東洋経済新報社）
 ＜国際会議での発表＞1.Social Experiment on “Home Visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall in Northern Japan, Sapporo (International Conference of Asian - Pacific Planning Societies 2023, 2023年8月)
 ＜学会発表＞1.東京区部への移動と単身化（単独、2023年5月20日、人口学研究会第650回定例会、オンライン開催）／2.東京都の人口移動と壮年期の単身化（単独、2023年6月10日、日本人口学会第75回大会、南山大学）／3.秘匿される市町村別日本人移動数の推定と評価（単独、2023年9月7日、経済統計学会第67回（2023年度）全国研究大会、静岡コンベンションアーツセンター）／4.秘匿される市区町村一都道府県間日本人移動数の推定－IPF法による推定実践の評価－（単独、2023年9月21日、日本人口学会2023年度第1回東日本地域部会、札幌市立大学）／5.移動経験と家族形成規範意識との関係（単独、2024年3月17日、地域類型科学研究会、神戸大学）
 ＜学会座長就任状況＞日本人口学会第75回大会（2023年6月11日、日本人口学会）
 ＜学会役員就任状況＞日本人口学会（編集委員）／日本人口学会（広報委員）／人口学研究会（総務幹事）
 ＜学術集会運営＞2023年度日本人口学会東日本地域部会
 ＜所属学会・研究会＞日本人口学会／日本家族社会学会／人文地理学会／日本地理学会／日本都市計画学会／経済統計学会／北海道社会学会／人口学研究会
 ＜講演会・講習会活動＞日本地域経済学会第35回大会の地域公開シンポジウム「少子高齢人口減少下における札幌市の再開発・経済再生とその可能性」「札幌市をめぐる人口移動と地域変容」（2023年11月11日、日本地域経済学会）
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞住民基本台帳に基づく人口人口動態及び世帯数（令和5年1月1日現在）に関する助言（2023年7月24日、北海道新聞）／胆振東部地震後の厚真町、安平町、むかわ町の社会増についての見解に関する助言（2023年8月21日、北海道新聞）／2023年度認定看護管理者教育課程サードレベルでの授業「正しい統計データの探し方、使い方」（2023年8月31日、札幌市立大学桑園キャンパス）

御手洗 洋蔵

＜国際会議での発表＞1.Influence of Different Flower Vases on the Impression of Cut Flowers（単独、IV Asian Horticultural Congress - AHC2023、2023年8月）
 ＜学会発表＞1.観葉植物とイミテーション植物に対する人の心理（共同、2023年度日本造園学会北海



道支部大会、2023年10月)

＜講演会・講習会活動＞札幌市立西岡南小学校での食育講座の講師「農作物の栄養素を調べてみよう」
(2023年6月14日、札幌市立西岡南小学校教諭青柳氏)

＜所属学会・研究会＞人間・植物関係学会／日本造園学会／園芸学会／環境情報科学センター／実践総合農学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞学会運営における会計担当として（日本造園学会北海道支部）
／学会運営における理事及び会計担当として（人間・植物関係学会）／学会運営における理事として
（実践総合農学会）

森 朋子

＜学術論文＞1.「給与地図」に見るアイヌ集落の居住地形成原理に関する考察，二風谷村における各居住地の特性と集落社会の関係性に着目して（単著、2023年7月、日本建築学会計画系論文集、88（809）、pp.2151-2159）

＜国際会議での発表＞1. A Study on a Transformation of the Ainu Tribe's Houses under Japanese Assimilation Policy（単独、The AMPS Proceedings Series 37、2023年12月）

＜その他の論文＞1.わたしとあの街，ルンビニ（ネパール連邦民主共和国）（単著、2023年11月、都市計画、Vol.72、No.6、日本都市計画学会、365、p.104）／2.第8小委員会の活動報告（単著、2023年12月、Japan ICOMOS Information、Vol.12(8)、p.25）／3.第8小委員会 遺産影響評価に関わる研究会報告（単著、2024年3月、Japan ICOMOS Information、Vol.12(9)、p.20）

＜学会発表＞1.北海道における太陽光発電設備等の設置関連市町村条例と現状課題，禁止・抑制区域に着目して（単独、2023年6月、2023年度日本建築学会北海道支部研究報告集、96、pp.285-288）／
2.日本の自治体における太陽光発電施設等への景観対応，北海道における太陽光発電設備等の設置関連市町村条例と現状課題（単独、2023年9月、2023年度日本建築学会大会（近畿）研究懇談会「グローバル時代の景観デザイン」資料集）／3.江別産ハルユタカと新得産そばから見た地域ブランド形成の取り組みに関する研究（共同、2023年12月、日本都市計画学会北海道支部2023年度研究発表会予稿集、p.15）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集（1件、日本建築学会）／2.日本建築学会技術報告集（1件、日本建築学会）／3.Urban and Regional Planning Review、査読付（英語）論文（1件、日本都市計画学会）／4.札幌市立大学研究論文集（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本イコモス国内委員会（理事）

＜学術集会運営＞第96回日本建築学会北海道支部研究発表会／2023年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本都市計画学会／日本イコモス国内委員会

＜専門職者・企業・展覧会等の支援＞大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会まちづくり委員会委員（2023年4-9月、大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会）／札幌市旧永山武四郎邸及び札幌市旧三菱鉱業寮運営協議会（2023年6月、12月、2024年3月、NC・MMS永山邸等運営共管理同事業体）／「21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究」への参画（2023年7月-2024年3月、北海道大学観光学高等研究センター）／第1回住ノ江・入船大会（2023年7月23日、小樽地域遺産連合会）／「ユネスコ・日本信託基金・世界遺産ルンビニ保存管理強化事業」国際科学委員会出席（2024年3月、ユネスコ・カトマンズ事務所）／2023年度日本建築学会大会プログラム編成委員会委員（2023年4月20日、日本建築学会都市計画本委員会）／第96回日本建築学会北海道支部研究発表会の実行委員として運営（2023年6月24日、日本建築学会北海道支部）／日本イコモス国内委員会理事としてイコモス総会参加「イコモス総会」（2023年9月1～9日、イコモス）／2023年度日本建築学会大会研究懇談会での研究発表「グローバル時代の景観デザイン」（2023年9月12日、日本建築学会グローバル景観デザイン小委員会）／日本イコモス国内委員会理事として理事会参加（年4回）（2023年6・9・12月・2024年3月、日本イコモス国内委員会）／2023年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会の実行委員としての運営（2023年12月2日、日本都市計画学会北海道支部）／地下空間WG委員として参加「地下空間WG」（2023年12月8日、土木学会地下空間研究委員会）／研究会の企画・開催「「世界遺産の文脈における影響評価のためのガイダンス及びツールキット」について」（2023年12月23日、日本イコモス国内委員会第8小委員会）／2023年度日



本都市計画学会北海道支部第4回都市地域セミナー企画・運営「北海道の景観施策のこれまでとこれから」(2024年1月24日、日本都市計画学会北海道支部) / 「ユネスコ・日本信託基金・世界遺産ルンビニ保存管理強化事業」への参加「国際科学委員会」(2024年3月、ユネスコ・カトマンズ事務所)

山田 信博

＜学術論文＞1.継続的家庭訪問による学生の学びと高齢者の生きがい創出(査読付論文)(共著、23023年9月、SCU jarnal of Design&Nursing Vol.17,No.1) / 2.札幌市内の住宅におけるルームエアコンの普及状況に関する研究(査読付論文)(単著、2023年12月、都市学研究 研究論文集 60)

＜学会発表＞1.集約初動期団地のコミュニティ形成に向けた実証実験「第3回あけぼのテラス」公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その7(共同、日本建築学会全国大会学術講演、2023年9月) / 2.集約初動期団地のコミュニティ形成に向けた実証実験の有効性検証 公的集合住宅団地の集約化手法に関する研究 その8(共同、日本建築学会全国大会学術講演、2023年9月) / 3.北海道の公営住宅におけるサンルームの実態と居住特性に関する研究 その1 サンルームの実態について(共同、日本建築学会全国大会学術講演、2023年9月) / 4.北海道の公営住宅におけるサンルームの実態と居住特性に関する研究 その2 サンルームの利用・評価について(共同、日本建築学会全国大会学術講演、2023年9月) / 5.厚真ベースにおける地域材を活用した家具製作 用途に応じてゆるやかに空間を分ける「二面性を持つ長椅子」と「ユニット化された棚」(共同、芸術工学会誌、2023年11月)

＜所属学会・研究会＞日本建築学会 / 日本居住福祉学会 / 北海道都市地域学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市、UR都市再生機構と三者協定を結び、真駒内のまちづくりに関する協議を行なっている。(真駒内まちづくり協議会)

横溝 賢

＜学術論文＞1.土地の記憶を描き、眺め、環流する社会的デザイン実践：回る往復書簡・ラウンドアバウトレターズを用いて(査読付論文)(共著、2023年、認知科学 Vol.31,No.2 June 2024) / 2.私は何者か。を問い直す WEBサイトのデザイン～大学教職員が広報の主体になれるコミュニケーションの道具づくり(査読付論文)(共著、2023年、日本デザイン学会 デザイン学研究 作品論文、29巻、1号、p.6)

＜学会発表＞1.相互持続的ウェルビーイングをかたちづくるデザイン(共同、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集、2023年6月) / 2.自らの身体に根差した記憶から生活世界を描き直す-奥州市水沢姉体地区でのフィールドワークを通して見えてきたこと-(共同、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集、2023年6月) / 3.問いを問い直す、語らう道具のデザイン実践(共同、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集、2023年6月) / 4.私中心デザインの実践・現場に立って短歌を詠むことを通じて-(共同、2023年度日本認知科学会第40回大会、2023年9月) / 5.経験を語らうことから現れる〈共創する時空〉(単独、共創学会第7回年次大会、2023年12月) / 6.コミュニティの映像エスノグラフィーによる研究 映像『札幌市石山エリアの人びととコミュニティ』と上映実践(共同、共創学会第7回年次大会、2023年12月) / 7.高齢者の孤独感に着目したコミュニケーション・カフェの実践-ICTの進化と発展に着目して-(共同、共創学会第7回年次大会、2023年12月) / 8.長期に継続する住民活動の仕組みを解き明かす-「いしやま朝市」の参与活動を通して-(共同、共創学会第7回年次大会、2023年12月)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.共創学会 研究論文(1件、共創学会)

＜学会役員就任状況＞1.2022年度 日本デザイン学会情報デザイン研究部会 オルタナティ部 vol0.01-vol.20(日本デザイン学会 情報デザイン研究部会) / 2.2022年度 第12回日本デザイン学会第1支部大会「地域の見え方・接し方」(日本デザイン学会 第1支部会) / 3.2023年度 日本デザイン学会第70回春季研究発表大会 情報デザイン研究部会テーマセッション「デザイン実践者が見ている環世界」(日本デザイン学会 情報デザイン研究部会) / 4.2023年度 日本デザイン学会第70回春季研究発表大会 情報デザイン研究部会テーマセッション「足元のWHYを問い直すデザイン」(日本デザイン学会 情報デザイン研究部会) / 5.2023年度 日本デザイン学会情報デザイン研究部会 オルタナティ部 vol.21, 22, 23(日本デザイン学会 情報デザイン研究部会)

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会 / 日本工学教育協会 / 共創学会 / 認知科学会 / 日本教育メディア学会



＜講演会・講習会活動＞令和5年第1回 INS SDGs研究会 in 札幌「相互持続的ウェルビーイングをかたちづくるデザイン」（2023年7月18日、岩手ネットワークシステム）／さっぽろ市民カレッジ「共創デザインの実践手法」2/20 第1回「共創のうまれかた」（2024年2月20日、札幌市生涯学習センターちえりあ）／さっぽろ市民カレッジ「共創デザインの実践手法」2/27 第2回「語らう道具のデザイン」（2024年2月27日、札幌市生涯学習センターちえりあ）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第7回グッドアクリウムデザイン賞審査委員（2023年10月23日、みずものコム）

石田 勝也

＜所属学会・研究会＞環境芸術学会／情報処理学会／芸術科学会

＜講演会・講習会活動＞知活ゼミナール2023 研究紹介動画（2023年7月15日、札幌市立大学、北海道立総合研究機構）／スカートトーク（WIRED SIAF as a tool）（2024年1月21日、札幌市民交流プラザ）／【ガイドツアー】“とある未来の雪のまち”って何だろう？アーティストと巡る、さっぽろ雪まつりの歴史とこれからの都市計画（2024年2月3日、札幌市民交流プラザ）／ビジターセンタートーク「アーティストが語る、札幌の今」（2024年2月23日、札幌市民交流プラザ）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞番組審議委員会（2022年度、FM北海道）／副教材作成検討委員会（2022年度、アイヌ民族文化財団）／こども動物園の利用状況の調査（2023年度、札幌市円山動物園）

大淵一博

＜学会発表＞1.NTT東日本札幌病院における地域産学連携の取り組みについて（共同、第73回 日本病院学会、2023年9月）／2.Microsoft365によるノーコード／ローコードシステム開発（単独、感性フォーラム札幌2024、2024年3月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究紀要（1件、札幌市立大学）

＜学術集会運営＞感性フォーラム2024（日本感性工学会北海道支部）

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本感性工学会／日本医療情報学会

＜講演会・講習会活動＞色彩分析ソフトウェア利用に関する講習会（2023年9月、札幌イメージコーディネート研究会）／

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市長グリーンディングカード デザイン審査会（2023年10月17日、札幌市国際部）／システム開発協力（通年、札幌の美しい景観を考える会）／ソフトウェア利用に関する講習会・Webサイトデザイン制作協力（随時、札幌イメージコーディネート研究会）／実行委員会委員長（統括・経理・イベント企画・運営・デザイン制作協力等）（通年、北海道グレートサンタラン実行委員会）

須之内 元洋

＜国際会議での発表＞1.Constructing an Online Information Hub for Citizen Science Through Aggregation of Orchid Species Knowledge（単独、The 23rd World Orchid Conference ICC Tainan, Tainan City, Taiwan、2024年2月）

＜所属学会・研究会＞Association for Computing Machinery／デジタルアーカイブ学会／芸術科学会／情報処理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ワークショップ企画・運営支援「未来きらめきプロジェクト「ティンカリング 身近なもので作ったりこわしたり」」（2023年10月15日・11月12日・25日・12月9日、東京都教育委員会）／ワークショップ企画・運営、プロジェクトウェブメディア構築「record／記録する」（2024年1月20日、NPOアートフル・アクション）／福祉施設が運用する障害者アートに関するデジタルアーカイブ運用・構築支援（みずのき美術館）／京都府下の障害者アートのデジタルアーカイブの運用・構築支援（きょうと障害者文化芸術推進機構（事務局 京都府））／陶磁器デザイナー森正洋氏のデジタルアーカイブ運用支援（合同会社森正洋デザイン研究所）／滞在作家アーカイブ構築支援、「アートとリサーチ」データベースの運用支援（さっぽろ天神山アートスタジオ）／沓掛キャンパスの写真アーカイブ構築支援（京都市立芸術大学）／BOTANIST TV CM音源の1/fゆらぎ分析／フィールドレコーディング音の提供（博報堂）／音楽アルバムのためのフィールドレコーディング



音の提供 (Polar M) /VRを活用したポン山自生植物紹介サイトの構築 (利尻町) /北海道の芸術文化アーカイブの構築 (北海道芸術文化アーカイブセンター) /文化庁受託事業「公立美術館における障害者等による文化芸術活動を促進させるためのコア人材のコミュニティ形成を軸とした基盤づくり事業」のデジタルアーカイブ構築 (一般社団法人HAPS)

藤沢 礼央

<学会発表>1.「模刻のモニュメント」において模刻の人類学的方法論としての可能性について (共同、日本生活学会、2023年6月)

<所属学会・研究会>日本生活学会/北海道芸術学会

<講演会・講習会活動>洞爺湖芸術館・アウトドアのテッパン (2023年5月3日・4日、洞爺湖芸術館) /苫小牧アートフェスティバル (2023年7月29日・30日、苫小牧市教育委員会) /おびひろ氷まつり・鉄たたけます。 (2024年1月27日・28日、北海道立帯広美術館)

<専門職者・企業・展覧会等への支援>苫小牧市立樽前小学校改築工事に伴う実施設計チームへの支援を行う。(2023年4月1日~2024年3月31日、苫小牧市役所建設部) /アーティスト支援企画の立案、実施、支援を行う。「Avantist project」 (2023年4月1日~2024年3月31日、ギャラリーCLAC) /縄文⇌現代 ~共鳴する美のかたち展への支援を行う。「縄文⇌現代 ~共鳴する美のかたち」 (2023年7月15日~9月3日、苫小牧市美術博物館) /第一回柳川現代美術計画への運営支援、作品出展を行う。「柳川現代美術計画」 (2023年7月28日~8月27日、柳川市教育委員会)

福田 大年

<学術論文>1.まちもじハント：見立て観察と協創を連動させたアイデア生成経験学習プログラム (原著論文) (共著、2023年6月、「デザイン学研究作品集」、第28巻、第1号、pp.108-113) /2.スマートロースターと焙煎士の相互行為を通じた新製品開発の可能性：メザニンロースターリービジネスの勃興を事例として (原著論文) (共著、2024年1月10日、「マーケティングジャーナル」、第43巻、第3号、pp.6-18)

<学会発表>1.表現を出力する方法としてのステッカーの可能性：貼ロプロの活動を振り返って (共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会) /2.遊ぶように共創されるプロセスの解明：複数人によるボードゲームづくり経験を振り返って (共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会) /3.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の活用可能性：構造や空気温度に着目したトイレ環境の検証 (共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会) /4.創造的人材を育む組織文化の醸成：共創型ビジュアル思考を活用した小学校の新しい学び場づくりから (共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会) /5.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の使用感の検証 (共同、2023年10月、日本災害看護学会第25回年次大会) /6.図的表現と協創が再構成する学習過程：学び展開図の開発 (単独、2023年10月、日本認知科学会第40回大会) /7.日常の観察と解釈から生まれるキャラクター：「〇〇に見える」パレイドリアを利用したアイデア生成プロセス (共同、2024年12月、共創学会第7回年次大会) /8.まちなか動物園：見立て観察と仕立て作業を組み合わせたアイデア生成学習の開発 (単独、2024年12月、共創学会第7回年次大会)

<学会座長就任状況>1.第70回日本デザイン学会春季研究発表大会 (2023年6月、日本デザイン学会)

<論文査読・学会抄録査読>1.SCU Journal of Design & Nursing：札幌市立大学研究論文集 (1件、札幌市立大学)

<学術集会運営>第14回日本デザイン学会第一支部大会 (大会テーマ「都市と自然の端境で育まれるデザイン実践」) (日本デザイン学会東北・北海道支部 (第一支部会))

<所属学会・研究会>日本デザイン学会/ヒューマンインタフェース学会/共創学会/日本認知科学会/日本災害看護学会

<講演会・講習会活動>日本デザイン学会、第70回春季研究発表大会、オーガナイズドセッション「学びのデザイン」、パネリスト (2023年6月、日本デザイン学会) /札幌市立啓明中学校向け協創スケッチワークショップ「みんなで黙々スケッチしたらアイデアたくさん!!クルクルスケッチワークショップ」 (2023年11月10日、札幌市立大学)

<専門職者・企業・展覧会等への支援>2023年度 第一回 実務研修会「あなたにとっての「働きやすい



職場」を協創スケッチ法を使って考えてみませんか？」（2023年7月21日、日本産業衛生学会 北海道地方会 産業看護部会）／都市型水族館のコミュニケーションツールとしての配布資料のデザイン制作「コミュニケーション絵本「あおぺんず #1 ホップ」」（2023年3月～6月、株式会社青々）／AOAO SAPPOROと市民のコミュニケーション活動である「まちなか水族館」のWebメディアの実施「まちなか水族館」（2023年4月～2024年3月、株式会社青々）／Atsumalovers 謝辞広告制作「北海道胆振東部地震への道民の支援に対する謝辞広告「Atsumalovers」」（2023年6月～9月、厚真町）／矯正医官の仕事紹介に係る絵本デザイン事業「刑務所で働く医者を紹介する絵本「けいむしよのなかのいしやさん」の試作」（2024年1月～2月、法務省札幌矯正管区）

松永 康佑

＜学会発表＞1.パズルゲームにおけるルールが及ぼす難易度と時間への影響（共同、日本デザイン学会第70回春季研究発表大会、2023年6月25日）／2.曲線形状が溝となる三次元可視化手法について（単独、芸術科学会 Nicograph2023、2023年12月2日）

＜学会座長就任状況＞1.Nicograph 2023 セッション4：メディアアート（2023年11月-12月、芸術科学会）

＜学術集会運営＞Nicograph 2023 プログラム委員（芸術科学会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ADADA学会／ACM SIGGRAPH／日本図学会／日本看護科学学会

坪内 健

＜学術論文＞1.生活拠点整備の展開と外出行動の実態からみる精神障害当事者の地域移行と地理空間との関係：北海道浦河町における社会福祉法人「浦河べてるの家」の取り組みに注目して（単著、2024年1月、北海道建築指導センター・センターレポート）／2.Long pathway of adaptation to community relocation: Planning as symbol for bridging temporalities（単著、2024年2月、Copal Publishing・Community Relocation, Disasters and Climate Change in Asia-Pacific Region）

＜著書＞1.Community Relocation, Disasters and Climate Change in Asia-Pacific Region（共著、2024年1月、Copal Publishing）／

＜学会発表＞1.夏季におけるキリンの屋外での活動と気象条件の関係に関する基礎的研究：札幌市円山動物園における動物福祉の向上を目指して（共同、日本建築学会北海道支部研究報告、2023年6月）／2.コミュニティバスの停留所が繋ぐ日常生活と近隣環境の特徴：北海道の過疎地域を対象として（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）／3.計画更新プロセスからみた地域公共施設としての生活館の今日的役割（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）／4.聴覚障害者が日常生活で直面する不都合な場面に関する基礎的研究（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）／5.低層階に店舗等の非宿泊機能を有するホテルの都市への開き方：札幌中心市街地に立地するホテルの平面構成と接道面に注目して（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）／6.集団移転に伴う住民の生活・社会活動の連鎖的変容に関する分析：気仙沼市小泉地区の住民による語り注目して（共同、日本建築学会学術講演、2023年7月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.14th ISAIA 2024 KYOTO（12件、日本建築学会）

＜学術集会運営＞第30回大会ワークショップ「弱さを共有する場づくりとその道具：合理的配慮の実践に向けて」（人間環境学会）／研究発表会（日本建築学会北海道支部）／2023年度日本建築学会大会（近畿）特別研究パネルディスカッション「若手研究者による『復興』再考－多元性の理解に向けて－」（日本建築学会大会）／公開研究会「さっぽろ路傍樹めぐり」（日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／都市住宅学会／北海道都市地域学会／日本都市学会／人間環境学会

＜講演会・講習会活動＞パブリックミーティング「ウォークアブルなまちづくり意見交換会」（2023年7月24日、苫小牧市）／パブリックミーティング「“通り”のまちづくりを考える」（2023年10月6日、苫小牧市）／パブリックミーティング「中心市街地のプロジェクトづくり」（2023年11月29日、苫小牧市）

**榎田 聡志**

＜講演会・講習会活動＞1.デザインセミナー①（2023年4月18日、株式会社C-labo）／2.デザインセミナー②（2023年5月20日、株式会社C-labo）／3.札幌市立大学 オープンキャンパス 公開授業「「おくりもの」視点で考えるプロダクトデザインの魅力」（2023年9月16日、札幌市立大学）／4.第8回DNA連携交流会「スマートフォン・ヘルスケア機器のデザイン事例紹介」（2024年1月17日、札幌市立大学）／5.学生向けワークショップ「ライフデザインワークショップ「発見！体験！未来のワタシ」」（2024年1月20日、札幌市立大学 矢久保先生・並木先生）／6.北海道情報大学 アントプレナー TALK「プロダクトデザイナーのビジネスについて」（2024年1月25日、北海道情報大学）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞

1.個人事業者向けデザインセミナー2回実施「3ステップで学ぶデザインの基本」（2023年4月18日、株式会社C-labo）／2.依頼を受け共同学童保育所の理事に就任し、日々の保育活動の運営管理・支持（2023年5月1日、特定非営利活動法人トッポクラブ）／3.依頼を受け、デザイン協議会正会員に入会、イベント等のサポート（2023年9月19日、北海道デザイン協議会）

矢久保 空遥

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本音響学会／日本感性工学会／芸術工学会

＜講演会・講習会活動＞1.浦川高校 アカデミックインターンシップ（2023年8月22日、札幌市立大学（矢久保））／2.高大連携事業 模擬授業「デザインしてみよう！私と〇〇を繋ぐ境界面」（2023年9月16日、札幌市立大学）／3.お金と仕事で考えるライフデザインワークショップ“発見！体験！未来のワタシ！”（2024年1月20日、札幌市立大学（矢久保））

吉田 彩乃

＜学会発表＞1.Social Experiment on “Home visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall of Northern Japan, Sapporo（共著、ICAPPS2023、2023年8月）／2.乗合タクシーにおけるモニターを利用した地域情報の提示とその効果（共著、情報処理学会第86回全国大会、2024年3月）

＜学術集会運営＞2023年度 人工知能学会全国大会（第37回）（一般社団法人人工知能学会）／2024年度 人工知能学会全国大会（第38回）（一般社団法人人工知能学会）

＜所属学会・研究会＞人工知能学会／情報処理学会／日本生態心理学会／日本コンピューティング化学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第37回全国大会の実行委員としてOSの募集・選定・取りまとめを担当（委嘱状あり）「2023年度 人工知能学会全国大会（第37回）」（2023年4月～8月末、一般社団法人人工知能学会）／第38回全国大会の実行委員としてOSの募集・選定・取りまとめを担当（委嘱状あり）「2024年度 人工知能学会全国大会（第38回）」（2023年9月～2024年3月末、一般社団法人人工知能学会）／こころとカラダのライフデザイン協創拠点・ワタシ的デザインアップデートWSの運営として会場設営、当日の運営を担当、お金と仕事で考えるライフデザインワークショップ発見！体験！未来のワタシ（2024年1月20日、国立研究開発法人科学技術振興機構）



看護学部

菊地 ひろみ

- ＜著書＞1.上田泉他（共著、2024年2月、クオリティケア、ISBN: 978-4-911097-03-8、pp.46-56）
- ＜学会発表＞1.ALS患者の家族に対する医療・福祉専門職の支援と課題（共同、2023年9月、第28回日本難病看護学会学術集会）／2.北海道の訪問看護事業所における新卒看護師採用・育成に関する課題の検討（共同、2023年11月、第28回日本在宅ケア学会学術集会）／3.新人訪問ナース応援フォーラムの実践報告と今後の課題（共同、2023年11月、第28回日本在宅ケア学会学術集会）
- ＜学会座長就任状況＞在宅におけるスピリチュアルケア（単独、第28回日本在宅ケア学会学術集会）
- ＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本難病看護学会誌（2件、日本難病看護学会）／2.日本難病看護学会学術集会抄録集（5件、日本難病看護学会）／3.日本在宅ケア学会学術集会抄録集（6件、日本在宅ケア学会）／4.日本死の臨床（1件、日本死の臨床研究会）
- ＜学会役員就任状況＞日本難病看護学会（編集委員）／日本在宅ケア学会（理事）／北海道公衆衛生学会（評議委員 査読委員）／日本難病看護学会（総務委員）
- ＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会／北海道公衆衛生学会
- ＜講演会・講習会活動＞新人訪問ナース応援フォーラム「君こそスターだ2023」ワークショップ
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞訪問看護推進検討会委員（2023年6月～2024年3月、北海道看護協会）／看護教員養成研修会講師（2023年6月、北海道看護協会）／北海道新卒訪問看護師育成支援会議（2023年6月～2024年3月、北海道看護協会）

川村 三希子

- ＜学術論文＞1.老人看護専門看護師が看護師の倫理的感受性をアセスメントする視点および倫理的感受性を育むアプローチ（共著、2024年3月、日本CNS看護学会誌、11巻、pp.1-9）／2.オンラインシステムを用いたがん体験者参加型演習の実践（共著、SCUジャーナル、17巻、pp.23-32）
- ＜著書＞1.患者さんと家族を支えるEnd of Life Care（共著、2023年7月、照林社、978-4-7965-2592-3、pp.2-4）／2.看護実践に活かす中範囲理論（共著、2023年11月、メヂカルフレンド社、978-4-8392-1699-6-3、pp.152-167）／3.がん緩和ケア薬必携ガイドブック（共著、2024年2月、南江堂、978-4-524-20341-3、pp.188-219）
- ＜学会発表＞1.認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント看護師用教育プログラムの開発と評価（共同、2023年6月、日本緩和医療学会）／2.頭頸部がん症状評価尺度 MD Anderson Symptom Inventory Head and Neck module:MDASI-HN日本語版の信頼性・妥当性の検証（共同、2024年2月、第38回日本がん看護学会）
- ＜学会座長就任状況＞入院中のオピオイド自己管理に向けた取り組み（2023年6月、第28回日本緩和医療学会）／一般演題 口演（2023年8月、日本緩和医療学会 第5回北海道支部学術大会）／教育セミナー 自分らしい人生をサポートするために（2024年2月、第38回日本がん看護学会）／大会長講演 コラボレーション 深化・進化するがん看護（2024年2月、第38回日本がん看護学会）
- ＜論文査読・学会抄録査読＞1.第43回日本看護科学学会学術集会（7件、日本看護科学学会）／2.第29回日本緩和医療学会学術大会（19件、日本緩和医療学会）／3.日本がん看護学会学会誌（2件、日本がん看護学会）
- ＜学会役員就任状況＞日本がん看護学会（理事・査読委員）／日本看護科学学会（評議員）／日本ホスピス緩和ケア協会（監事）／日本緩和医療学会北海道支部（運営委員）／日本緩和医療学会（代議員）／北海道がん心療心身ネットワーク研究会（世話人）
- ＜学術集会運営＞第28回日本緩和医療学会学術集会「痛み」WG員／第38回日本がん看護学会企画委員
- ＜所属学会・研究会＞日本がん看護学会／日本緩和医療学会／日本看護科学学会／日本老年看護学会／日本CNS学会
- ＜講演会・講習会活動＞リンパ浮腫の予防とセルフケア（2023年7月22日、NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会）／在宅療養を選ぶときのポイント がん患者が自分らしく生活するための選択肢（2023年10月15日、NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会）
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専門的緩和ケアに従事する看護師のクリニカルラダーの活用（2023年8月20日、日本ホスピス緩和ケア協会）／専門的緩和ケア看護師教育プログラム（2023年8月）



～2024年2月、日本ホスピス緩和ケア協会)

荒木 奈緒

＜著書＞1.母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護（共著、2024年1月、メディカ出版、978-8404-8160-1）／2.母性看護学② 母性看護の実践（共著、2024年1月、メディカ出版、978-4-8404-8161-8）／3.母性看護学③ 母性看護技術（共著、2024年1月、メディカ出版、978-4-8404-8162-5）

＜学会発表＞1.NIPTを受けるために遺伝カウンセリングを受けた人々の実態（共同、2023年10月、母性衛生学会）／2.臨地実習における助産師学生の自己効力感に関する文献レビュー（共同、2023年10月、母性衛生学会）／3.分娩介助実習における助産師学生の自己効力感を高めるために臨床指導者の教員の実践（共同、2023年10月、日本助産学会）

＜研究会発表等＞1.臨地実習における助産師学生の自己効力感に関する文献検討（共同、2023年12月、第16回成育看護研究会）／2.胎児にとっての出生前検査に対する看護学生の考え（共同、2023年12月、第16回成育看護研究会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本遺伝看護学会誌（1件、日本遺伝看護学会）／2.日本助産学会誌（1件、日本助産学会）／3.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本助産学会（代議員）／日本遺伝看護学会（学会誌編集委員）／日本看護学会（学術集会抄録選考委員）／北海道母性衛生学会（理事）／北海道成育看護研究会（評議員）

＜学術集会運営＞第16回北海道成育看護研究会

＜所属学会・研究会＞母性衛生学会／日本助産学会／日本遺伝看護学会／日本遺伝カウンセリング学会／日本看護科学学会／日本生命倫理学会／日本看護技術学会／日本超音波医学会／日本小児看護学会／日本小児保健協会／北海道母性衛生学会／北海道成育看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞1.個別調査部会部会員「日本医療安全調査機構 個別調査部会部会員」（2023年4月1日～7月24日、日本医療安全調査機構）／2.臨床看護研究指導講師（2023年4月1日～2024年3月31日、NTT東日本札幌病院）

卯野木 健

＜学術論文＞1.Follow-up focused on psychological intervention initiated after intensive care unit in adult patients and informal caregivers: a systematic review and meta-analysis（共著、2023年6月、Peer J、11巻、pp.e15260）／2.Return-to-Work Prevalence Among COVID-19 Patients After Receiving Intensive Care: A Systematic Review and Meta-Analysis.（共著、2023年10月、Cuerus、15巻、10号）／3.Japanese Clinical Practice Guidelines for Rehabilitation in Critically Ill Patients 2023 (J-ReCIP 2023)（共著、2023年11月、J Intensive Care、11巻、1号、pp.47）／4.Instruments to assess post-intensive care syndrome assessment: a scoping review and modified Delphi method study.（共著、2023年11月、Crit Care、27巻、1号、pp.430）／5.Enteral nutrition practice in the prone position in patients with coronavirus disease 2019: An international one-day point prevalence analysis.（共著、2023年12月、Clin Nutr ESPEN、59巻、pp.257-263）／6.Assessment of Dyspnea in Critically Ill Patients: A Comparative Analysis of Evaluation Scales（共著、2024年1月、Cuerus、16巻、1号、p.e52751）／7.Post-intensive care syndrome: Recent advances and future directions（共著、2024年2月、Acute Med Surg、11巻、1号、p.e929）／8.Nation-wide survey of oral care practice in Japanese intensive care units: A descriptive study.（共著、2024年3月、PLoS One、19巻、3号、pp.e0301258）

＜学会発表＞1.論文を読むのが億劫うな人のための、必読論文-看護編（単独、2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）／2.遠隔期におけるICUサバイバーのメンタルヘルスに関する記述的研究（共同、2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.ガイドライン作成の主旨とプロセス（2023年6月、日本リハビリテーション医学会）／2.重症患者におけるリハビリテーション診療ガイドライン J-ReCIP 2023（2023年7月、日本心臓リハビリテーション学会学術集会）／3.集中治療認証看護師（ICRN, ICRN-K）制度の意義と概要（2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜学会招聘講演＞1.Clinical Practice Competencies for Intensive Care Nursing in Japan（単独、2023年10月、Joint congress of JSICM/TSCCM/TSECCM）

＜学会座長就任状況＞合同企画 日本集中治療医学会50周年記念・日本心臓リハビリテーション学会ジョイントセッション（2023年7月、第29回日本心臓リハビリテーション学会）／レジリエンスの



高いクリティカルケア提供体制に向けて（2023年8月、第27回日本看護管理学会学術集会）／Oral Presentations（2023年10月、Joint congress of JSICM/TSCCM/TSECCM）／ICU看護師の新たな役割－ICUの枠を超えて－（2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本集中治療医学会雑誌（10件、日本集中治療医学会）／2.PLoS One（1件、PLOS）／3.Scientific Reports（1件、Nature）／4.日本クリティカルケア看護学会雑誌（1件、日本クリティカルケア看護学会）／5.日本クリティカルケア看護学会雑誌（5件、日本クリティカルケア看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本集中治療医学会（理事）／看護理工学会（評議員）／日本クリティカルケア看護学会（国際交流委員委員長）

＜所属学会・研究会＞日本集中治療医学会／日本呼吸療法医学会／日本クリティカルケア看護学会／看護理工学会／American Association of Critical Care Nurses

貝谷 敏子

＜学術論文＞1.The reliability and validity of proxy assessment of quality of life by nurses in patients with pressure injuries.（共著、2023年4月、J.Jpn. WOCN.、27巻、1号、pp.55-66）／2.在宅療養者における医療関連機器圧迫創傷の有病状況とケアの現状 全国指定訪問看護ステーションの実態調査から（共著、2023年10月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌、27巻、3号、pp.503-514）

＜学会発表＞1.認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント看護師用教育プログラムの開発と評価（共同、2023年6月、日本緩和医療学会）

＜学会シンポジウム＞1.WOCナースのキャリア開発プログラム（ワークショップ講演）（2023年7月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／2.研究倫理に強くなろう！倫理指針・ガイドランスの改正ポイントをやさしく解説します。（2023年7月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）

＜学会座長就任状況＞『祖母の介護で実践した褥瘡予防』『褥瘡医療の現在（いま）と未来』（2023年11月、日本褥瘡学会北海道地方会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本創傷・オストミー・失禁管理学会学会誌（1件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／2.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）／3.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）／4.日本創傷・オストミー・失禁管理学会学会誌（5件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／5.Wound Repair and Regeneration（1件、Wound Repair and Regeneration）

＜学会役員就任状況＞日本創傷治癒学会（評議員（ガイドライン委員））／日本創傷・オストミー・失禁管理学会（理事）／日本褥瘡学会（理事）／看護理工学会（査読委員）

＜学術集会運営＞39thがん看護学会

＜所属学会・研究会＞創傷治癒学会／日本看護科学学会／日本創傷・オストミー・失禁管理学会／日本褥瘡学会／日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会／看護理工学会／医療経済学会／日本褥瘡学会北海道地方会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌医科大学倫理委員会外部委員「第1回倫理委員会」（2024年1月12日、札幌医科大学）

樋之津 淳子

＜学会発表＞1.術前外来における退院後の生活を見据えた看護実践に関する質的研究（共同、2023年12月、第43回看護科学学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞看護人間工学会・日本看護技術学会ジョイントプログラム（共同、2023年6月、看護理工学会）／一般演題・口演4（単独、2023年8月、日本看護研究学会第49回学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護研究学会誌（3件、日本看護研究学会）／2.日本看護技術学会誌（3件、日本看護技術学会）／3.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）／4.日本医療大学紀要（1件、日本医療大学）／5.武庫川女子大学看護学ジャーナル（1件、武庫川女子大学）／6.日本看護技術学会誌（3件、日本看護技術学会）／7.日本看護科学学会誌（7件、日本看護科学学会）／8.看護人間工学会誌（1件、看護人間工学会）／9.日本看護学教育学会誌（3件、日本看護学教育学会誌）

＜学会役員就任状況＞看護理工学会（評議員・監事）／看護人間工学会（理事・監事）／日本看護科学学会（代議員）／日本看護学教育学会（評議員）／日本看護研究学会（評議員）／日本看護研究学会北



北海道地方会（役員）／日本看護技術学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／看護人間工学会／看護理工学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究会の運営委員、全国実態調査、意見交換（北のケア環境研究会）

菅原 美樹

＜著書＞1.系統看護学講座 別巻 救急看護学 第7版（共著、2024年1月、医学書院、9784260053075、pp.62-82、pp.139-152、pp.202-211、pp.211-218、pp.277-286）

＜学会発表＞1.Overview of the Process of Developing Tools for Critical Care Trauma Nursing Practice in Japan（共同、2023年8月、世界外傷学会6th World Trauma Congress Tokyo 2023）

＜学会シンポジウム＞1.フォーラムディスカッション「クリティカルケア看護の軌跡と展望」（単独、2023年7月、第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会）／2.特別企画 レジェンド対談「救急看護の温故知新」（単独、2023年11月、第25回日本救急看護学会学術集会）／3.パネルディスカッション 2「Rapid Response System（RRS）の有効性と課題－医療安全と2022年度診療報酬改定を見据えて－」（単独、2023年11月、第26回日本救急看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞クリティカルケア領域で活躍する特定行為研修修了者の実践活動と今後の展望（共同、2023年7月、第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護学会誌（2件、日本看護学会）／2.日本災害看護学会第26回年次大会抄録集（3件、日本災害看護学会）／3.日本災害看護学会誌（1件、日本災害看護学会）／4.日本救急看護学会雑誌（1件、日本救急看護学会）／5.日本クリティカルケア看護学会誌（1件、日本クリティカルケア看護学会）／6.第20回日本クリティカルケア看護学会抄録集（15件、日本クリティカルケア看護学会）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人日本クリティカルケア看護学会（将来構想委員会担当理事）／一般社団法人日本救急看護学会（医療政策担当理事 庶務担当理事）／一般社団法人日本災害看護学会（評議員、災害看護学術用語検討委員会）

＜学術集会運営＞第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会企画委員／第39回日本がん看護学会学術集会運営委員長

＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本循環器看護学会／日本看護管理学会／日本集中治療医学会／日本看護科学学会／日本看護教育学学会／日本看護研究学会／日本災害看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞医療事故調査の報告書を専門的知識・識見から審議（2024年3月11日・1日間、一般社団法人日本医療安全調査機構）／臨床指導者研修会 講師「ゴードンのアセスメント枠組みを用いた看護過程と臨床指導」（2023年11月17日・1日間、砂川市立病院）／救急看護に関わる診療報酬・介護報酬体系に関する審議・提案（一般社団法人看護系学会等社会保険連合）

高橋 奈美

＜著書＞1.看護実践に活かす中範囲理論第3版（共著、2023年11月、メヂカルフレンド、978-4-8392-1699-3、pp.230-238）／2.ナーシング・グラフィカ成人看護学⑤リハビリテーション看護（共著、2024年1月、メディカ出版、978-4-8404-8159-5、pp.52-59）／3.在宅看護過程演習第3版－アセスメント・統合・看護計画から実施・評価へ（共著、2024年2月、クオリティケア、978-4-911097-03-8、pp.127-151）

＜学会発表＞1.ALS患者の家族に対する医療・福祉専門職の支援と課題（共同、2023年9月、日本難病看護学会学術集会）

＜学会座長就任状況＞訪問看護／在宅ケア技術（2023年11月、日本在宅ケア学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本慢性看護学会学術集会（2件、日本慢性看護学会）／2.日本難病看護学会誌（2件、日本難病看護学会）／3.日本在宅ケア学会学術集会（3件、日本在宅ケア学会）／4.日本慢性看護学会誌（1件、日本慢性看護学会）／5.SCUジャーナル（1件）

＜学会役員就任状況＞日本慢性看護学会（評議員）／日本在宅ケア学会（代議員）／日本難病看護学会（総務委員）



＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本難病看護学会／日本在宅看護学会／日本在宅ケア学会／日本慢性看護学会／日本専門看護師協議会／北海道医療大学看護福祉学部学会／日本プライマリ・ケア連合学会

＜講演会・講習会活動＞日本ALS協会北海道支部講演会「ALS療養者・家族の日常を支えるケア～過去・現在・未来～」(2023年6月4日、日本ALS協会北海道支部)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究倫理委員会学外委員(2023年4月～2024年3月、天使大学)／意思決定支援(ACP)研修、意思決定支援(ACP)研修(2023年11月17日、北海道医療大学病院)／訪問看護・訪問リハビリテーションにおける吸引手技研修、訪問看護・訪問リハビリテーションにおける吸引手技研修(2024年3月13日、静明館訪問看護ステーションののほな)

原井 美佳

＜実践報告等＞1.「地域の高齢者を対象とした思い出語りプロジェクト」のきろく(2024年3月、札幌市立大学)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会(北海道公衆衛生学会評議員(機関指定評議員))

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会／日本老年泌尿器科学会／日本排尿機能学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本農村医学会／日本認知症ケア学会／日本スピリチュアルケア学会

＜講演会・講習会活動＞幌加内町第6回いきいき健康塾の企画・運営協力(地域産学連携協力依頼書あり)「第6回いきいき健康塾」(2023年7月30日、幌加内町)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞桑園認知症ケア研究会世話人(役員、兼業許可書あり)：桑園地区における認知症啓発活動の企画・運営、認知症ケア相談会における相談業務担当(桑園認知症ケア研究会)

檜山 明子

＜学術論文＞1.Using the Analytic Hierarchy Process to Measure Nurses' Decision-Making Regarding Fall Risks and Care Strategies for Fall Prevention(単著、2024年1月、Journal of Nursing Measurement)

＜実践報告等＞1.若手研究者のつながりと発信-JANS若手の会エリア・コーディネーターの活動(共著、2023年4月、医学書院、56巻、2号、pp.122-140)

＜学会発表＞1.認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント看護師用教育プログラムの開発と評価(共同、2023年6月、第28回日本緩和医療学会学術大会)／2.看護学生に対する血圧測定技術教育に関するスコーピングレビュー(共同、2023年10月、第21回日本看護技術学会学術集会)／3.術前外来における退院後の生活を見据えた看護実践に関する質的研究(共同、2023年12月、第43回日本看護科学学会学術集会)／4.Relationship between accidents in nursing homes and staff movement records using a tag monitoring system and the call-bell record(単独、2024年3月、The 11th World Congress of Clinical Safety)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.医療の質・安全学会誌(1件、医療の質・安全学会)

＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会(和文誌編集委員)／日本看護科学学会(JANS若手の会エリア・コーディネーター)

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／日本看護技術学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞運営委員(事務局)(2023年4月1日～2024年3月31日、北のケア環境研究会)／北海道専任教員養成講習会講師(2023年6月16日～7月14日、北海道看護協会、令和6年度北海道専任教員養成講習会)

本田 光

＜学術論文＞1.性犯罪に遭うことが危惧される障がいのある子どもの行動 — 特別支援学校と放課後等デイサービスの教職員の観点から — (共著、2023年5月、母性衛生、64巻、2号、pp.299-307)／2.継続的家庭訪問による学生の学びと高齢者の生きがい創出 — URあけぼの団地で実施された「教えて人生の先輩」プロジェクトの評価 — (共著、2023年10月、札幌市立大学研究論文集、17巻、1号、pp.3-



13) /3.パートナーが妊娠期にある父親を対象とした支援ニーズの実態調査～パートナーシップを強化する観点から～ (共著、2024年3月、北海道公衆衛生学雑誌、37巻、2号、pp.129-135)

<実践報告等>1.第11回日本公衆衛生看護学会学術集会 学術実践開発委員会ワークショップ報告 公衆衛生看護実践のためのガイドライン作成に向けて (共著、2023年8月、日本公衆衛生看護学会誌、12巻、2号、pp.142-145) /2.母親の子育てを通して「地域の人々をつながる力」を測定する尺度 使用ガイド (単著、2024年3月、北海道公衆衛生学雑誌、37巻、2号、pp.143-147)

<学会発表>1.SUPPORT FOR FATHERS DURING PREGNANCY IN JAPAN: A STUDY OF PROGRAM PLANNING TO STRENGTHEN PARTNERSHIPS (共同、2023年7月、ICN CONGRESS 2023) /2.特別支援教育で活用可能な性教育教材 (SHカード) の開発と有効性の評価 (共同、2023年9月、日本地域看護学会第26回学術集会) /3.精神疾患を疑う急性期事例に対応する警察・保健所との連携に関するニーズ (共同、2023年9月、日本地域看護学会第26回学術集会) /4.インドネシア人看護師が日本の看護師国家試験に合格するために必要な要素 (共同、2023年11月、第75回 北海道公衆衛生学会) /5.公衆衛生看護実践のためのガイドラインは必要? : ガイドラインの基本を一緒に学びましょう (共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会) /6.日本版BPPの取り組み～母子保健における父親支援について考えよう～ (共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会) /7.新規事業の評価をエビデンスに～前後比較?それともRCT? (共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会) /8.地域運営型フリースクール「うめむすび」設立支援と学生にとっての教育的意義～不登校の子ども達のための地域の居場所づくり (共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会) /9.Development of a web application to support mothers' connection to the community and verification of its effectiveness: a RCT study in Japan (共同、2024年3月、27th East Asian Forum of Nursing Scholars, Hong Kong) /10.Collaboration in occupational health nursing - A concept analysis review - (共同、2024年3月、27th East Asian Forum of Nursing Scholars, Hong Kong)

<論文査読・学会抄録査読>1.BMC Geriatrics (1件、BMC Geriatrics) /2.Public Health Nursing (3件、Public Health Nursing) /3.BMC Public health (1件、BMC Public health) /4.日本地域看護学会誌 (2件、日本地域看護学会) /5.日本公衆衛生看護学会誌 (2件、日本公衆衛生看護学会) /6.北海道公衆衛生学雑誌 (1件、北海道公衆衛生学会)

<学会役員就任状況>日本公衆衛生看護学会 (学術実践開発委員会) /北海道公衆衛生学会 (評議員)

<所属学会・研究会>日本産業衛生学会 /日本公衆衛生看護学会 /北海道公衆衛生学会 /日本公衆衛生学会 /日本看護科学学会 /日本地域看護学会 /日本学校保健学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>市立札幌病院 看護研究に関する講義「研究デザインについて考える」(2023年7月25日、市立札幌病院看護部) /全保教夏季研修会第3分科会「尺度開発」に関する講義「尺度開発-SC20」(2023年8月26日、全国保健師教育機関協議会) /札幌市豊平区・地域包括支援センター・予防センター向け地区診断に関する講義「地区診断の方法論」(2023年9月20日、札幌市豊平区保健福祉課)

牧野 夏子

<学術論文>1.形成外科における熱傷患者の看護援助に関する看護師の困難 (共著、2023年9月、熱傷、49巻、3号、pp.155-163) /2.COVID-19重症・中等症患者の看護実践における困難の実態 (共著、2023年11月、日本クリティカルケア看護学会誌、19巻、pp.172-183) /3.重症熱傷患者に対する移行ケアにおける看護師の認識 (共著、2024年3月、熱傷、50巻、1号、pp.29-38)

<資料>1.よくわかる看護過程 第5回脊髄損傷患者の看護 (2023年7月、株式会社GAKKEN、11巻、8号、pp.75-101)

<学会発表>1.重症熱傷患者に対する救急医療から病棟への移行ケアに関する形成外科看護師の認識 (共同、2023年5月、第49回日本熱傷学会学術集会) /2.救急看護領域におけるエキスパートナースの熱傷看護実践 (共同、2023年7月、第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会) /3.Overview of the process of developing tools for critical care trauma nursing practice in Japan (共同、2023年8月、The 6th World Trauma Congress) /4.熱傷患者に対する看護師の退院支援に関する実態 (共同、2023年11月、第25回日本救急看護学会学術集会) /5.救急外来における熱傷患者家族への看護の現状と課題 (共同、2023年11月、第25回日本救急看護学会学術集会) /6.救命救急センターに勤務する看



看護師が抱える疲労の要因（単独、2023年11月、日本看護学会誌）／7.熱傷患者の退院支援に関する施設の取り組みの実態（共同、2024年2月、第31回日本熱傷学会北海道地方会）／8.熱傷患者に対する移行ケアに関する国内外の文献検討（共同、2024年2月、第31回日本熱傷学会北海道地方会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.医学と生物学 (Medicine and Biology) (1件、医学と生物学)／2.日本救急看護学会誌 (1件、日本救急看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本クリティカルケア看護学会 (将来構想委員)／日本救急看護学会 (評議員)

＜学術集会運営＞第51回日本集中治療医学会学術集会 企画委員／第1回サマーキャンプ in NISEKO 企画委員／第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会 企画実行委員／第39回日本がん看護学会学術集会企画委員

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本熱傷学会／日本救急看護学会／日本集中治療医学会／日本救急医学会北海道地方会／日本看護研究学会／北海道専門看護師の会／日本臨床救急医学会／日本クリティカルケア看護学会／日本熱傷学会／日本専門看護師協議会／札幌医科大学クリティカルケア看護研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞急性増悪につながる状態変化の臨床判断「フィジカルアセスメントIV」（2023年7月15日、札幌医科大学附属病院看護部）

村松 真澄

＜学術論文＞1.Current status and future prospects for oral care education in Bachelor of Nursing curriculums: A Japanese cross-sectional study (共著、2023年4月、Japan Journal of Nursing Science、20巻、2号)／2.特別養護老人ホーム入居者のエンドオブライフにおけるケアニーズの構造 (共著、2023年7月、日本老年看護学雑誌、28巻、1号、pp.62-71)／3.A Survey of Oral Assessment and Healthcare Education at Nursing Schools in Japan (共著、2023年12月、International Dental Journal、73巻、6号、pp.804-811)／4.Implementation of peer-to-peer oral care objective structured clinical examination-based learning for nursing students (共著、2024年2月、Japan Journal of Nursing Science)

＜調査研究報告書＞1.2022/23年度モニタリンググループ年次報告書 (共著、2023年10月、日本公衆衛生学会モニタリング)

＜学会発表＞1.口腔機能低下症患者に対する当院の筋機能療法 (共同、2023年4月、日本口腔ケア学会)／2.医療・介護関連肺炎発症におけるOral Assessment Guide合計得点のカットオフポイントの検討 (共同、2023年6月、日本老年歯科医学学会)／3.Oral Assessment Guideによる口腔機能評価は介護福祉施設入居者の肺炎発症のリスク判断になりうるか 1年前向きコホート研究 (共同、2023年7月、第64回日本歯科医療管理学会学術大会)／4.COVID-19流行下における北海道の特別養護老人ホームの入居者の肺炎罹患率と口腔衛生管理加算との関係 (共同、2023年7月、第64回日本歯科医療管理学会学術大会)／5.希死念慮を抱える認知症高齢者のケアについての文献検討 (共同、2023年9月、第75回北海道公衆衛生学会)／6.神経難病により摂食嚥下障害を持つ患者の早期発見のための特徴とケアについての文献検討 (共同、2023年9月、第75回北海道公衆衛生学会)／7.高齢者の孤独感に着目したコミュニケーション・カフェの実践 (共同、2023年12月、共創学会第7回年次大会)／8.術前外来における退院後の生活を見据えた看護実践に関する質的研究 (共同、2023年12月、日本看護科学学会)

＜学会シンポジウム＞1.介護施設における看護と介護の連携強化によるエンドオブライフケア (単独、2023年6月、日本老年看護学会)／2.シンポジウム1 急性期から慢性期・在宅で口腔ケアの連携「口腔ケアから始まる連携の場」 (単独、2023年8月、第25回日本口腔ケア協会学術大会並びに日本口腔ケア学会秋季大会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本老年看護学会学術集会 (3件、日本老年看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会 (代議員)／日本摂食嚥下リハビリテーション学会 (評議員)／日本口腔ケア学会 (評議員)／北海道公衆衛生学会 (評議員)／日本公衆衛生学会 (モニタリング委員)

＜学術集会運営＞第25回日本口腔ケア協会学術大会並びに日本口腔ケア学会秋季大会

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会評議員・査読委員・政策検討委員／日本口腔ケア学会評議員・学術委員／日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員・査読委員／日本公衆衛生学会会員モニタリング委員／北海道公衆衛生学会会員評議員／日本看護教育学会会員／日本地域看護学会会員／日本看護研



究学会会員／日本老年歯科医学会会員／日本看護科学学会会員／看護理工学会会員／日本看護技術学会会員／日本看護管理学会会員／日本がん看護学会会員／日本在宅ケア学会会員／日本歯科医療管理学会会員／日本在宅看護学会会員／北海道歯学会会員／日本口腔看護研究会副代表世話人／北海道口腔ケア研究会会員世話人／旭川口腔ケア普及会会員幹事／日本認知症ケア学会／日本高齢者ケアリング学研究会／日本がん口腔支持療法学会／死の臨床研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞福岡看護大学のOSCE 支援「看護におけるOSCEの概要と実際」（2023年5月25日、福岡看護大学）／口腔機能管理委員会への支援う：研修会の講師「口腔機能管理委員会研修会の講師「周術期口腔機能管理の必要性」」（2023年5月30日、東京医科大学病院）／北海道大学・第21回 医療AI特別セミナー（令和5年度 第7回）の講師「看護に貢献する口腔アセスメントとAI」（2023年11月16日、医療AI開発者養成プログラム(CLAP)と北海道大学病院医療AI研究開発センター、連携研究センター医療AI教育研究分野）／2023年度口腔ケア実践WEBセミナーの企画運営（日本口腔看護研究会）／旭川口腔ケア普及会（上川中部地域歯科保健推進協議会）

守村 洋

＜学術論文＞1.シミュレーションで身につける精神看護技術 うつ病（単著、2024年3月、医学映像教育センター）／2.シミュレーションで身につける精神看護技術 統合失調症（単著、2024年3月、医学映像教育センター）

＜実践報告等＞1.精神科病床を有する医療機関等での虐待防止と権利擁護の取り組みに関する文献・事例等報告書（共著、2023年6月、日本精神保健看護学会、pp.23-26）

＜学会発表＞1.当事者参加型演習における教育効果の検証・学生によるアセスメントの視点をテキストマイニング分析で可視化する・（共同、2023年6月、日本精神保健看護学会第33回学術集会総会）／2.みんなで対話しよう！権利擁護ー神出病院事件を繰り返さないためにー（共同、2023年6月、日本精神保健看護学会第33回学術集会総会）／3.精神看護学領域と地域看護学領域によるOSCE複合課題開発と実践の報告（共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会）／4.4年次生に対するOSCE複合課題の作成と取り組みー卒業時における看護実践能力を育むにはー（共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会）／5.発達障害とトラウマインフォームドケア～家族支援のための対話実践～（共同、2023年12月、日本看護科学学会第43回学術集会）／6.精神看護学シミュレーション教育の過程で自信度はどのように変化するか（共同、2024年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会第5回学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.大学キャンパスにおける複雑事例に対する問題解決アプローチ（共同）、2023年12月、第45回全国大学メンタルヘルス学会）

＜学会役員就任状況＞日本看護シミュレーションラーニング学会（代議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本精神保健看護学会／日本救急看護学会／日本自殺予防学会／日本うつ病学会／日本看護学教育学会／日本看護管理学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本シミュレーション医療教育学会／日本社会精神医学会／日本公衆衛生学会／日本精神障害者リハビリテーション学会／全国大学メンタルヘルス学会

＜講演会・講習会活動＞教諭向け研修会「自殺予防の取組」（オンデマンド、札幌市教育委員会）／市民向け講習会「推し活、ハマる、そして依存する」（2023年8月19日、NPO法人札家連）／市民向け講習会「女性のメンタルヘルス」（2023年10月31日、公益財団法人北海道女性協会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞メンタルヘルス・スペシャリスト養成講座「精神保健」（2024年4月30日、10月29日、一般社団法人メンタルケア協会）／令和5年度福祉職場におけるメンタルヘルス研修「「職場のメンタルヘルス対策と管理者の役割」など」（オンデマンド、北海道社会福祉協議会）／機関紙「心の健康」編集委員（2023年8月1日、2024年2月1日、北海道精神保健協会）／精神科訪問看護基本療養指導に係る研修「「精神保健福祉の現状と動向」など」（2023年8月16日、北海道看護協会）／令和5年度生活支援員登録に向けた研修会「精神障害のある方への関わり・制度等支援について」（オンデマンド、札幌市社会福祉協議会）／住民を巻き込んだSP導入の仕組みと意義（2024年2月13日、福岡県立大学）／看護OSCEの構築とその意義について（2024年3月15日、公立大阪大学）

石引 かずみ



<学術論文>1.開業助産師が捉えている分娩期におけるWomen-centered careのとその実践（共著、2023年12月、日本看護科学会誌、43巻、pp.831-841）
 <学会役員就任状況>日本フォレンジック看護学会（代議員）
 <学術集会運営>第16回 北海道成育看護研究会
 <所属学会・研究会>日本助産学会／日本母性衛生学会／北海道母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本フォレンジック看護学会／日本保健医療福祉連携教育学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>北海道看護協会 札幌第1支部 助産師職能委員（北海道看護協会）

伊東 健太郎

<学会発表>1.北海道の過疎地域における精神障害者の支援～精神科訪問看護師の支援に焦点を当てて～（単独、2023年5月、日本精神保健看護学会）／2.当事者参加型演習において学生が着目したりカバリーの視点～計量テキスト分析による学生レポートの内容分析～（共同、2023年5月、日本精神保健看護学会）／3.積雪寒冷期に北海道の過疎地域で精神障害者を支援する際の困難（共同、2023年9月、日本ルーラルナーシング学会）／4.精神科臨床経験がない訪問看護師による精神障害者への看護ケア（共同、2023年11月、日本在宅ケア学会）／5.精神看護学シミュレーション教育の過程で自信度はどのように変化するか（共同、2024年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会）
 <論文査読・学会抄録査読>1.SCUジャーナル（1件）
 <所属学会・研究会>日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本自殺予防学会／日本社会精神医学会／日本看護研究学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本シミュレーション医療教育学会／日本ルーラルナーシング学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>現役看護師を中心とした参加者が当事者研究を行い自身のメンタルヘルスについて分析するための支援（毎月、当事者研究会「ぱちぱちの会」）／医療職者が当事者研究を行い、生きづらさについて共有し分かち合う会の支援（毎月、当事者研究「Supaの会」）／SST（社会生活技能訓練）、当事者研究の研修会（2023年4月8日、すずらん病院）／当事者研究北海道大会ネットワーク運営の支援（2023年4月～2024年3月、北海道当事者研究ネットワーク）／当事者支援の研修会（2023年6月17日、胆振いぶり・ひだか 児童家庭支援センター しずく）／当事者研究全国交流集会の支援（2023年6月～10月、当事者研究全国交流集会）

岡 園代

<著書>1.助産学基礎教育テキスト第7巻（共著、2024年2月、日本看護協会出版会、9784818026179、pp.253-277）
 <論文査読・学会抄録査読>1.日本新生児看護学会誌（1件、日本新生児看護学会）
 <学術集会運営>第16回北海道成育看護研究会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>第1回北海道新生児集中ケア認定看護師の集いの企画・運営（新生児集中ケア認定看護師会）

鬼塚 美玲

<学会発表>1.厳冬期地震災害の災害急性期における患者想定（単独、2023年6月、第25回日本医療マネジメント学会学術総会）／2.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の活用可能性—構造や空気温度に着目したトイレ環境の検証—（共同、2023年6月、第70回日本デザイン学会春季研究発表大会）／3.テーマセッション「厳冬期における災害への備え-医療的ケアを必要とする小児と家族のために-」（共同、2023年7月、日本小児看護学会第33回学術集会）／4.Social Experiment on “Home visit Rehabilitation MaaS” in Area with Heavy Snowfall of Northern Japan, Sapporo（共同、2023年8月、Asian-Pacific Planning Societies 2023国際会議ベトナム）／5.厳冬期災害時の避難所における「かまくらトイレ」の使用感の検証（共同、2023年9月、日本災害看護学会第25回年次大会）／6.積雪寒冷期大地震に対する病院看護部門の備え（共同、2023年12月、第71回日本職業・災害医学会学術大会）／7.大規模災害時の多職種による医療支援において看護師が経験する倫理的課題（共同、2023年12月、第71回日本職業・災害医学会学術大会）
 <所属学会・研究会>防衛衛生学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本



医療マネジメント学会／日本職業・災害医学会／日本災害看護学会／日本デザイン学会
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>災害連携教員（一般社団法人日本看護系大学協議会）

工藤 京子

<学会発表>1.わかるより気づきの教育を。対話型鑑賞から考える看護のまなざし（共同、2023年8月、看護学教育学会）

<学術集会運営>第39回 日本がん看護学会企画委員

<所属学会・研究会>日本災害医学学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本認知症ケア学会／日本看護管理学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>実習指導者1年目への講義「看護基礎教育における実習の意義と指導」「臨床指導者研修I」（2023年4月17日、市立札幌病院看護部）

武富 貴久子

<学術論文>1.大学病院における医療職者の努力-報酬不均衡モデルによる職業性ストレスと労働災害・医療事故との関係（共著、2023年9月、労働安全衛生研究、16巻、2号、pp.117-125）

<学会発表>1.北海道過疎地域に居住する高齢者の健康意識と医療サービスに関する横断的調査（共同、2023年5月、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会）／2.看護師の臨床研究を支援する取り組み A病院の7年間の教育・管理的サポートと研究成果（共同、2023年8月、第27回日本看護管理学会学術集会）／3.Community Health Care from the Perspective of Senior Residents in Underpopulated Areas（共同、2024年3月、27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2024)）

<学会シンポジウム>1.シンポジウム「多様なプライマリ・ケア領域の研究を発信するためには」（共同、2023年5月、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会）／2.医学教育研究の基本を学ぶワークショップ（共同、2023年7月、第55回日本医学教育学会大会）

<論文査読・学会抄録査読>1.プライマリケア・連合学会誌（4件）

<学会役員就任状況>日本医学教育学会（一般社団法人日本医学教育学会代議員会推薦代議員http://jsme.umin.ac.jp/ann/jmse_an_230605.html、研究推進委員会）

<所属学会・研究会>日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本看護研究学会／日本医学教育学会／日本医療・病院管理学会／日本血管看護研究会／日本公衆衛生学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本プライマリ・ケア連合学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援>看護研究指導（2023年4月～2024年3月、砂川市立病院看護部）／看護研究指導（2023年4月～2024年3月、町立中標津病院）／医学OSCE認定標準模擬患者委員会（委員）（2023年4月～2024年3月、公益社団法人医療系大学間教養試験実施評価機構）／医学教育研究支援メンタリングプログラム企画・運営（2023年6月～7月、医学教育研究メンタリングプログラム）／OSCE運営支援（標準模擬患者に対する演技および評価の助言）（2023年9月9～10日、10月14～15日、北海道大学）／看護研究指導（2024年2月～3月、医療法人北楡会札幌北楡病院）／第14回医学教育研究技法ワークショップ「医療者教育の研究を立案してみよう」（2024年3月2日、医学教育学会研究推進委員会）

牧田 靖子

<学会発表>1.厳冬期における災害への備え～医療的ケアを必要とする小児と家族のために～（共同、2023年7月、日本小児看護学会第33回学術集会）／2.「北海道小児膠原病の会」の設立を通して、子どもとその家族に必要な支援を考える（共同、2023年9月、全国自治体病院学会）／3.コロナ禍における保育者の抑うつに対するリスク関連要因;幼稚園・保育園における横断研究（共同、2023年11月、北海道公衆衛生学会）／4.乳児虐待リスク予測システム（仮称）の開発と精度検証-第1報-（共同、2023年11月、日本子ども虐待防止学会）

<所属学会・研究会>日本小児看護学会／日本小児救急医学会／日本小児集中治療研究会／日本子ども虐待防止学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／北海道子どもの虐待防止協会／北海道成育看護研究会／認定特定非営利法人ファミリーハウス／北海道地域医療研究会／北海道公衆衛生学会



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞毎月1回1時間、保健相談を実施、記録、教えて！ナース（毎月1回、南区保育子育て支援センター）／患者会会議、活動の評価、支援「助成金獲得支援、運営評価、イベント企画・サポート」（3～4カ月に1回不定期、北海道小児膠原病の会）／小児の救命講習 講師「ママさん教育リフレッシュセミナー」（2023年11月17日、砂川市教育委員会）／医療事故調査・支援センター、センター調査個別調査部会部会員（2024年1月11日、3月21日、日本医療安全調査機構）

三戸部 純子

＜学術論文＞1.薬剤確認時におけるエラー識別の混酸差に関する実験的検討（単著、2023年9月、SCUジャーナル、17巻、1号、pp.15-22）

＜学会発表＞1.薬剤名・薬剤量の識別エラーの実験的検討（単独、2023年6月、第11回看護理工学会）

＜研究会発表等＞1.薬剤情報の差異検出に関する実験的検討―薬剤名と薬剤量ではどちらがミスを見逃しやすいのか―

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル（1件、SCUジャーナル）

＜所属学会・研究会＞日本心理学会／日本看護技術学会／看護理工学会／看護人間工学会

矢野 祐美子

＜学術論文＞1.中小規模病院の看護師長を対象とした問題解決思考力向上のためのオンライン学習プログラムの開発（単著、2023年9月、聖路加国際大学）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.札幌市立大学研究論文集 SCU Journal of Design & Nursing 2024（1件）／2.伝統医療看護連携研究 第5巻第2号（1件、日本伝統医療看護連携学会）

＜学術集会運営＞日本看護管理学会 例会 in 北海道

＜所属学会・研究会＞日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本看護評価学会／日本医療・病院管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌第3支部看護師職能研修会：看護職のキャリアにおける社会人基礎力育成のあり方「変化する社会において中堅看護師に求められるマネジメント力を考える」（2023年12月2日、北海道看護協会）

市戸 優人

＜学術論文＞1.性犯罪に遭うことが危惧される障がいのある子どもの行動―特別支援学校と放課後等デイサービスの教職員の観点から―（共著、2023年7月、母性衛生、64巻、2号、pp.299-307）／2.思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証（単著、2023年9月、札幌市立大学大学院看護学研究科）

＜学会発表＞1.精神看護学領域と地域看護学領域によるOSCE複合課題開発と実践の報告（共同、2023年8月、日本看護学教育学会 第33回学術集会）／2.4年次生に対するOSCE複合課題の作成と取り組み―卒業時における看護実践能力を育むためには―（共同、2023年8月、日本看護学教育学会 第33回学術集会）／3.特別支援教育で活用可能な性教育教材（SHカード）の開発と有効性の評価（共同、2023年9月、日本地域看護学会 第26回学術集会）／4.北海道産業保健総合支援センターの産業保健実習における取り組み（共同、2023年9月、第103回北海道医学大会）／5.思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会）／6.新規事業の評価をエビデンスに―前後比較？それともRCT？―（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本産業衛生学会北海道地方会（運営委員）／日本産業衛生学会北海道地方会産業保健看護部会（幹事）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞北海道公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会／看護総合科学研究会／日本健康学会／日本看護研究学会／日本思春期学会／日本公衆衛生学会／日本産業衛生学会／日本母性衛生学会／日本看護教育学会／日本学校保健学会

＜講演会・講習会活動＞高等学校で高校生を対象とした性講話を実施「自分の性を大切によりよい性生活を送るために」（2023年7月23日、北海道室蘭栄高等学校）／高等学校で高校生を対象とした性講話を実施「自分の性を大切にしよりよい性生活を送るために」（2024年1月23日、北海道大谷室蘭高等学校）／高等支援学校で高校生を対象とした性講話を実施「心と体と関係性」（2024年3月18日、市立札幌みなみの杜高等支援学校）



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞アクティブラーニングを用いた性教育を可能とする性教育教材に関する教員研修会にて講師を担った「アクティブラーニングを用いた性教育を可能とする性教育教材」（2024年1月15日、北海道伊達高等養護学校）

久保田 祥子

＜学術論文＞1.Benefits to Clinicians of Nonpharmacological Distraction During Pediatric Medical Procedure（共著、2024年2月、Hospital Pediatrics、14巻、2号、pp.e123-e131）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.CBEL Report（東京大学生命倫理連携研究機構が発行している雑誌）（1件）

＜学術集会運営＞第16回北海道成育看護研究会

＜所属学会・研究会＞日本生命倫理学会／日本助産学会／日本フォレンジック看護学会／日本思春期学会

栗原 知己

＜学術論文＞1.Japanese Clinical Practice Guidelines for Rehabilitation in Critically Ill Patients 2023 (J-ReCIP 2023)（共著、2023年11月、Journal of intensive care、11巻、1号、p.47）／2.Experiences of the older spousal caregivers of patients with cancer during palliative chemotherapy: a qualitative descriptive study（共著、2023年11月、BMC palliative care、22巻、1号、p.188）／3.Clinical parameter-guided initial resuscitation in adult patients with septic shock: A systematic review and network meta-analysis（共著、2023年12月、Acute medicine & surgery、10巻、1号、p.e914）／4.Nation-wide survey of oral care practice in Japanese intensive care units: A descriptive study（共著、2024年3月、Plos one、19巻、3号、p.e0301258）

＜学会発表＞1.日本国内の全集中治療室を対象とした口腔ケアの実態調査（共同、2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.Current situation related to the critical care nursing for trauma patients in Japan.（2023年8月、World Trauma Congress）

＜学会座長就任状況＞P041 長期予後、P132 Post ICU 2（2024年3月、第51回日本集中治療医学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第51回日本集中治療医学会学術集会（11件、一般社団法人 日本集中治療医学会）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人 日本集中治療医学会（看護教育委員会 委員）／一般社団法人 日本救急看護学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本集中治療医学会／日本看護管理学会／日本看護研究学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞JNTECプロバイダーコースのインストラクター「外傷初期看護セミナー（JNTEC）」（2023年5月13～14日、9月30日～10月1日、日本救急看護学会）

近藤 圭子

＜学会発表＞1.北海道過疎地域に居住する高齢者の健康意識と医療サービスに関する横断的調査（共同、2023年5月、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会）／2.地域運営型フリースクール「うめむすび」設立支援と学生にとっての教育的意義～不登校の子ども達のための地域の居場所づくり～（共同、2024年1月、第12回日本公衆衛生看護学会学術集会）／3.Community Health Care from the Perspective of Senior Residents in Underpopulated Areas（共同、2024年3月、27th East Asian Forum of Nursing Scholars）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（北海道公衆衛生学会評議員）

＜所属学会・研究会＞日本プライマリ・ケア連合学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生看護学会／日本在宅ケア学会／日本看護科学学会／日本衛生学会／日本農村医学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞非営利地域団体によるフリースクール運営のための学生参加、フリースクール運営のための助言や学生ボランティアのサポート（2022年9月～2023年9月、フリース



クール「うめむすび」) / 第1支部委員長 看護職能団体として看護の質向上、看護職が働き続けられる環境づくり、ニーズに応える看護の提供 (2023年3月～、北海道看護協会保健師職能委員会)

渋谷 友紀

＜学術論文＞1. 「行動変容に向けた意欲」の評価に関する研究 (共著、2024年1月、デザイン学研究、70巻、3号、pp.1-10)

＜学会発表＞1. 当事者参加型演習において学生が着目したリカバリーの視点-計量テキスト分析による学生レポートの内容分析 (共同、2023年5月、日本精神保健看護学会第33回学術集会・総会) / 2. 4年次生に対するOSCE複合課題の作成と取り組み-卒業時における看護実践能力を育むには (共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会) / 3. 精神看護学領域と地域看護学領域によるOSCE複合課題開発と実践の報告 (共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会) / 4. 精神看護学シミュレーション教育の過程で自信度はどのように変化するか (共同、2024年2月、第5回日本看護シミュレーションラーニング学会)

＜研究会発表等＞1. 人材育成に向けたHCDの最適化に関する研究 (共同、2023年11月、人間中心設計2023年度冬季HCD研究発表会)

＜所属学会・研究会＞特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構 / 日本精神保健看護学会 / 日本シミュレーション医療教育学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護シミュレーションラーニング学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護研究学会 / 日本デザイン学会 / 日本教育工学会

田仲 里江

＜学術論文＞1. 計量テキスト分析を用いた法看護教育の課題 (共著、2023年4月、日本セーフティープロモーション学会、16巻、1号、pp.18-28)

＜学会発表＞1. 精神看護学領域と地域看護学領域によるOSCE複合課題開発と実践の報告 (共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会) / 2. 4年次生に対するOSCE複合課題の作成と取り組み-卒業時における看護実践能力を育むには (共同、2023年8月、日本看護学教育学会第33回学術集会) / 3. DX, ICT遺留品記録アプリを活用した災害看護教育の教材検討 (共同、2023年9月、日本災害看護学会第25回年次大会)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会 (評議員)

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会 / 日本地域看護学会 / 日本公衆衛生学会 / 北海道公衆衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護学教育学会 / 日本災害看護学会 / 教育システム情報学会 / 日本フォレンジック看護学会 / 日本医療教授システム学学会 / 日本教育工学学会 / 日本看護管理学会

西川 めぐみ

＜学会役員就任状況＞北海道腎移植談話会 (幹事・会計監事) / 日本移植コーディネーター協議会 (教育委員)

＜所属学会・研究会＞日本移植学会 / 日本臨床腎移植学会 / 日本看護医療学会 / 日本腎不全看護学会 / 北海道腎移植談話会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞JATCO総合研修会およびフォローアップセミナーの企画・運営「JATCO総合研修会「L6共7講面接技術」、第4回JATCO総合研修会フォローアップセミナー」(2023年12月1～2日、2024年2月15日、日本移植コーディネーター協議会)

平山 憲吾

＜学術論文＞1. オンラインシステムを用いたがん体験者参加型演習の実践—COVID-19 流行下における成人看護学実習の新たな取り組み— (共著、2023年9月、SCU Journal of Design & Nursing、17巻、1号、pp.23-32) / 2. Experiences of the older spousal caregivers of patients with cancer during palliative chemotherapy: a qualitative descriptive study. (共著、2023年11月、BMC Palliative Care、22巻、1号、p.188) / 3. Risk factors for oral frailty among community-dwelling pre-frail older adults in Japan: A cross-sectional analysis. (共著、2023年11月、Community Dental Health、40巻、4号、pp.221-226)

＜調査研究報告書＞1. 「化学療法を継続する進行高齢がん患者における意思決定支援モデルの開発と検



証] 令和5年度科研費研究成果報告書(2023年12月)

＜学会発表＞1.がん薬物療法を受ける高齢患者とその家族の双方に対する思いに関する文献検討(単独、2023年12月、第43回日本看護科学学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCU Journal of Design & Nursing(1件)

＜学会役員就任状況＞看護総合科学研究会(総務)／日本専門看護師協議会(研修委員会 北海道地区ワーキング委員)／日本がん看護学会(日本がん看護学会誌 査読委員)

＜学術集会運営＞2023年度看護総合科学研究会セミナー

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本がん看護学会／日本専門看護師協議会／日本老年医学会／日本老年看護学会／日本在宅ケア学会／日本健康医学会／看護総合科学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞デスカンファレンスへの参加・助言(2023年7月12日、9月15日、市立札幌病院、6階東病棟、8階西病棟)

吉田 実和

＜学会発表＞1.看護学生に対する血圧測定技術教育に関するスコーピングレビュー(共同、2023年10月、日本看護技術学会第21回学術集会)

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護技術学会／日本看護研究学会／日本看護科学学会／看護理工学会

高橋 葉子

＜学会発表＞1.認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント看護師用教育プログラムの開発と評価(共同、2023年6月、日本緩和医療学会)／2.看護学生に対する血圧測定技術教育に関するスコーピングレビュー(共同、2023年10月、日本看護技術学会)／3.「認知症の街(ホグウェイ)」の成立過程と実態についての歴史的研究(共同、2023年12月、日本看護科学学会)／4.看護師のプロフェッショナルグリーフ研究の動向 国外文献に焦点を当てて(共同、2023年12月、日本看護科学学会)／5.心電図初学者のための心臓模型教材の開発 プレテスト結果の報告(共同、2023年12月、日本看護科学学会)

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護科学学会／看護理工学会／日本看護技術学会

**AITセンター****高橋尚人**

＜学術論文＞1.ニューラルネットワークを用いた札幌市の救急搬送の将来予測（共著、2023年9月、第22回情報科学技術フォーラム（FIT2023））／2.札幌市の幹線道路排雪作業の最適化に関する研究（共著、2023年11月、寒地技術論文・報告集Vol.39）／3.ドライアイスによるコンクリートの健全性診断システムの開発（共著、2024年2月、令和5年度土木学会北海道支部論文報告集（第80号））

＜学会発表＞1.近赤外光による雪氷混在路面反射の分類 — 深層学習の適用可能性について —（共著、雪氷研究大会（2023年・郡山）、2023年9月）／2.プロピオン酸ナトリウムを活用した凍結防止剤の検証報告（共著、第35回ふゆトピア研究発表会論文集、2024年1月）

＜所属学会・研究会＞土木学会／日本雪氷学会／情報処理学会／日本看護科学学会

＜講演会・講習会活動＞札幌旭丘高等学校数理データサイエンス科「総合的な探究の時間」講座「データサイエンスと街づくり」（2023年7月3日、札幌旭丘高等学校）／第8回 WEATEHR-Eyeオープンフォーラム「深層学習を用いた滑走路雪氷判別モデルの構築」（2023年12月5日、JAXA）

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 2023年度 第18号

編 集 広報室

担 当 事 務 経営企画課

発 行 日 2024年12月1日

発 行 行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <https://www.scu.ac.jp>